SPIRITUAL CONFERENCE

あなたが最強の霊力に目覚めて
欲しいものを
なんでも引き寄せる方法

完全解説テキスト

目 次

はじめに	この資料を最後まで読んだ人だけが受け取れるもの
第1章	なぜあなたは今回のスピリチュアルカンファレンスに参加したのか
第2章	霊力の正体と、霊力が上がった人たちに起きたこと
第3章	なぜ既存の四柱推命は外れるのか
第4章	霊力は意図的に上げられる——全体地図
第5章	波動調整ワーク——霊力の土台をつくる6つの習慣
第6章	占いの三種の神器①　適切な神社に行く
第7章	占いの三種の神器②　適切なパワーストーンを身につける
第8章	占いの三種の神器③　奇門遁甲で適切な方位を取る
第9章	上級者テクニック——子平推命を学ぶ
第10章	適切な努力をする——霊力を現実に変える技術
第11章	霊力が身につく12のポイント総まとめと21日間実践プラン
第12章	霊力開発プログラム——ここから先は、あなた専用の秘伝
おわりに	必ず手に入れて欲しい護符

はじめに

この資料を最後まで読んだ人だけが受け取れるもの

目安 4分

最初に、結論からお伝えします。

霊力は、生まれつきの才能ではありません。

意図的に、誰でも、今日から上げられるものです。

これが、この資料でいちばん伝えたいことです。**霊力は「ある人・ない人」に分かれるものではなく、「上げ方を知っている人・知らない人」に分かれているだけ**なのです。

「霊力」と聞くと、幽霊が見えるとか、未来が見えるとか、そういう特殊な能力を想像される方が多いと思います。けれど、ここでお話しする霊力はもっと実用的なものです。**欲しいものを、欲しいタイミングで、無理なく自分のもとに引き寄せる力。**それを私は霊力と呼んでいます。

収入が上がる人と上がらない人。理想の相手に出会える人と出会えない人。お店が3店舗で止まる人と、20店舗まで広がる人。能力や努力の量だけでは、この差は説明がつきません。同じくらい頑張っているのに、なぜか結果が出る人がいる。その「なぜか」の部分に、霊力が関わっています。

そしてここが大切なところですが、**その「なぜか」には、再現できる手順があります。**手順があるということは、学べるということ。学べるということは、あなたにもできるということです。

この資料の読み方

この資料は全部で13の章に分かれています。全体の流れを先にお見せします。

- 第1章　なぜあなたは今回のスピリチュアルカンファレンスに参加したのか
- 第2章　霊力の正体と、霊力が上がった人たちに起きたこと
- 第3章　なぜ既存の四柱推命は外れるのか
- 第4章　霊力は意図的に上げられる――全体地図
- 第5章　波動調整ワーク――霊力の土台をつくる6つの習慣
- 第6章　占いの三種の神器①　適切な神社に行く
- 第7章　占いの三種の神器②　適切なパワーストーンを身につける
- 第8章　占いの三種の神器③　奇門遁甲で適切な方位を取る
- 第9章　上級者テクニック――子平推命を学ぶ
- 第10章　適切な努力をする――霊力を現実に変える技術
- 第11章　霊力が身につく12のポイント総まとめと21日間実践プラン
- 第12章　霊力開発プログラム――ここから先は、あなた専用の秘伝
- おわりに　必ず手に入れて欲しい護符

読み進めるうえで、マーカーの意味だけ覚えておいてください。

- **黄色のマーカー**は「大事なところ」です。
- **ピンクのマーカー**は「ここだけは絶対に持ち帰って欲しい最重要ポイント」です。

時間がないときは、マーカーの部分だけを拾い読みしても全体がつかめるように書いています。ただ、できれば一度は頭から最後まで通して読んでください。理由は二つあります。

一つ目は、**順番に意味があるから**です。霊力には「土台」と「道具」と「技術」があり、土台がないまま道具だけを持っても効きません。高価なパワーストーンを買ったのに何も変わらなかった、という方は、ほぼ例外なくこの順番を飛ばしています。

二つ目は、最後の章に、**この資料のなかでいちばん簡単で、いちばん最初にやって欲しいこと**を書いているからです。それは「ある護符を手に入れること」なのですが、なぜその護符なのか、どう扱えばいいのかは、ここまでの章を読んで初めて腑に落ちるようになっています。

もう一つだけ予告しておきます。第3章で、ある命式を使って、**「多くの人が開運のつもりで、実は運を下げる行動をしている」**という話をします。これは耳の痛い話ですが、ここを知っているかどうかで、この先の努力がすべて実るか、すべて空回りするかが決まります。

それでは、始めましょう。

第 1 章

なぜあなたは今回のスピリチュアルカンファレンスに参加したのか

目安 5分

結論：あなたは「欲しいもの」があるから、ここにいる

まず、あなた自身に問いかけてみてください。

なぜ、あなたは今回のスピリチュアルカンファレンスに参加したのでしょうか。

「なんとなく面白そうだったから」「友人に誘われたから」。表面的な理由はいろいろあると思います。けれど、わざわざ時間を使い、足を運び、ここまで読み進めているのには、もっと深い理由があるはずです。

結論を言います。**あなたは、欲しいものがあるからここにいます。** そしてそれは、まったく恥ずかしいことではありません。

理由：欲望は、霊力のエンジンである

スピリチュアルの世界では、「欲を手放しなさい」「執着を捨てなさい」と言われることがよくあります。それも一つの真理ではありますが、私はあえて逆のことを言います。

欲望は、霊力のエンジンです。欲しいものがはっきりしている人ほど、霊力は強く働きます。

考えてみてください。行き先を決めていない船は、どれだけ立派なエンジンを積んでいても、どこにも着きません。霊力も同じです。「何を引き寄せたいのか」が曖昧なままでは、力が上がっても、それを向ける先がありません。

だからこの章では、まずあなたの欲望をはっきりさせます。これまで私のもとに相談に来られた方々の願いは、大きく分けると三つに整理できます。

具体例：みんなの欲望は、この三つに集約される

一つ目：欲しいものがある

いちばん分かりやすい欲望です。

- もっと収入を上げたい
- 理想の人と付き合いたい

お金とパートナー。この二つは、相談内容の大半を占めます。「お金が欲しいなんて、スピリチュアルな場で言ってはいけない気がして」と遠慮される方がいますが、遠慮は要りません。**お金は、あなたが選べる選択肢の数そのものです。** 収入が上がれば、住む場所も、付き合う人も、時間の使い方も選べるようになります。それを望むのは、ごく健全なことです。

パートナーについても同じです。「理想が高すぎると言われる」という声をよく聞きますが、理想を下げる必要はありません。必要なのは、理想を下げることではなく、**その理想の相手と出会ったときに、相手から選ばれる自分になっておくこと**です。これが霊力の仕事です。

二つ目：幸せになりたい

二つ目は、何かを「得たい」というより、今ある苦しさを「なくしたい」という願いです。

- 職場の関係をよくしたい
- 苦手な人が消えて欲しい

「苦手な人が消えて欲しい」。正直な願いだと思います。そして実は、霊力が上がると、これは本当に起きます。もちろん、誰かが不幸になるという意味ではありません。相手が異動になる、あなたに別の良い話が来る、相手の態度がなぜか柔らかくなる。**形はさまざまですが、合わない縁が自然にほどけていきます。**

これは不思議なことではありません。人間関係は、波長の合う者同士が近づき、合わない者同士が離れるようにできています。あなたの波動が変われば、今まで噛み合っていた「苦手な人」との歯車が合わなくなり、自然に距離ができる。それだけのことです。この仕組みは第5章で詳しくお話しします。

三つ目：自分が求める理想像がある

三つ目は、もう少し大きな願いです。

- 理想の人と繋がっていたい
- もっとお店を拡大させたい、もっと売上を上げたい

「理想の人と繋がっていたい」というのは、恋愛の話に限りません。尊敬する経営者、一流の専門家、志の高い仲間。**自分より上のステージにいる人たちの輪のなかにいたい**という願いです。

事業をされている方であれば、店舗を増やしたい、売上の桁を一つ上げたい、という具体的な目標があるでしょう。これも霊力の領域です。売上の桁が変わるときには、必ずと言っていいほど「人との出会い」と「タイミング」が絡みます。良い物件が偶然空いた、優秀な人がたまたま入ってきた、紹介で大口の取引が決まった。経営者の方に成功の理由を聞くと、最後にはたいてい「運が良かった」とおっしゃいます。その「運」を、偶然に任せず自分で取りにいくのが霊力です。

ワーク：あなたの欲望を一行で書く

ここで一度、読むのを止めて、手を動かしてください。

いま、いちばん欲しいものを、一行で書いてください。

ポイントは三つです。

- **数字と期限を入れること。**「収入を上げたい」ではなく「来年の12月までに月収を100万円にする」。
- **否定形で書かないこと。**「貧乏から抜け出したい」ではなく「月収100万円になる」。

- **遠慮しないこと。** 誰にも見せないのですから、本音で書いてください。

なぜ今これを書いていただくかというと、この後の章で出てくる方法はすべて、**「何のためにやるのか」が決まっている人にだけ強く効く**からです。神社でのお参りも、パワーストーンも、方位取りも、願いが定まっていなければ力の向け先がありません。

補足①：欲望に罪悪感がある人へ

ここまで読んで、「それでも、欲しがるのは良くないことのような気がする」と感じている方がいるかもしれません。子どもの頃から「欲張ってはいけない」「我慢しなさい」と言われて育った方ほど、そう感じやすいものです。

その罪悪感は、いったん脇に置いてください。理由があります。

自分が満たされていない人は、人を満たすことができません。 余裕のない人は、人に優しくする余力がありません。お金に困っている人は、困っている誰かを助けることができません。あなたが豊かになることは、あなたの周りの人が豊かになるための前提条件です。

実際、第2章でご紹介する方々は、結果を手にした後、従業員の給料を上げ、家族に時間を使い、お世話になった人に恩を返しています。欲望を叶えた先には、必ず「人に与える」という段階が待っています。だから、遠慮せずに求めてください。

補足②：欲望の奥にある「本当の願い」を見つける

もう一つ、大切な作業があります。書いた一行に対して、「なぜ、それが欲しいのか」と三回、自分に問いかけてみてください。

たとえば、「月収を100万円にしたい」と書いたとします。

- なぜ？　——お金の心配をせずに暮らしたいから。
- なぜ？　——心配がなくなれば、家族との時間に集中できるから。
- なぜ？　——子どもが小さい今の時間は、二度と戻ってこないから。

ここまで掘ると、欲しかったものの正体が見えてきます。この方が本当に欲しいのは、100万円という数字ではなく、**「家族と過ごす、不安のない時間」**です。

これが分かっていると、二つの良いことがあります。一つは、願いに力がこもること。数字だけの目標より、大切な人の顔が浮かぶ目標のほうが、人は強く動けます。もう一つは、**叶え方の道が増えること**です。月収100万円への道は一本ではありません。本当の願いが分かっていれば、思いもよらない形でチャンスが来たときに、「これだ」と気づくことができます。

霊力は、あなたの表面の言葉ではなく、奥にある本当の願いに反応します。だからこそ、一度ここで、自分の本音の底まで降りておいて欲しいのです。

まとめ：欲望を認めた瞬間に、霊力は動き出す

この章の結論をもう一度お伝えします。

あなたがここにいるのは、欲しいものがあるからです。そしてその欲望こそが、霊力を動かすエンジンです。

欲望を隠したまま、きれいな言葉だけで開運しようとしても、力は出ません。まずは自分の本音を認めること。それが霊力に目覚める第一歩です。

では、霊力が上がると、実際にどんなことが起きるのか。次の章で、実際に起きた変化をお見せします。「そんなことが本当に起きるのか」と思われるかもしれませんが、起きた理由までを含めてお話ししますので、そのまま読み進めてください。

第 2 章

霊力の正体と、霊力が上がった人たちに起きたこと

目安 5分

結論：霊力とは「引き寄せる力」そのものである

この章の結論です。

霊力とは、目に見えない世界の話ではなく、
現実を動かす「引き寄せる力」そのものです。

引き寄せの法則という言葉は、すでに聞いたことがある方が多いと思います。「強く願えば叶う」「ワクワクしていれば現実が変わる」。そう教わって試してみたけれど、結局何も変わらなかった、という経験がある方も少なくないでしょう。

なぜ変わらなかったのか。答えはシンプルです。**願い方の問題ではなく、願う側の「出力」が足りなかったからです。**

理由：同じ願いでも、出力が違えば結果が違う

ラジオを思い浮かべてください。放送局がどれだけ良い番組を流していても、送信の出力が弱ければ、電波は遠くまで届きません。逆に、出力の強い局の電波は、遠く離れた場所でもはっきり受信できます。

人の願いも同じです。あなたが「こうなりたい」と発した願いは、一種の信号のようなものです。その信号が強ければ、必要な人、必要な情報、必要な機会に届きます。弱ければ、どこにも届かずに消えてしまいます。

この「信号の出力」が、霊力です。

つまり、引き寄せがうまくいかなかった人は、願い方を間違えていたのではありません。出力を上げる方法を知らなかっただけです。そしてこの資料は、その出力の上げ方を、順番に、具体的にお伝えするためのものです。

霊力が上がると、主に三つの変化が起きます。

- **直感が鋭くなる。**「こっちだ」という感覚が当たるようになり、迷う時間が減ります。
- **人との縁が入れ替わる。** 必要な人が現れ、合わない人が離れていきます。
- **タイミングが合うようになる。** 欲しいと思ったものが、ちょうど良い時期に目の前に現れます。

どれも地味に聞こえるかもしれません。けれど、この三つが揃うと、人生に起きる出来事の質がまるで変わります。

補足：引き寄せがうまくいかない人の、三つの誤解

ここで、引き寄せについてよくある誤解を三つ、解いておきます。

誤解①　強く願えば願うほど叶う

力んで願うほど叶う、というのは誤解です。「どうしても欲しい、ないと困る」と握りしめるように願っているとき、その奥にあるのは「いまの自分には、ない」という欠乏の感覚です。発している信号は「欲しい」ではなく「ない」のほうになってしまいます。

願いは、はっきり決めて、あとは軽く持つ。 レストランで注文した後、料理が来るかどうかを厨房まで何度も確かめに行く人はいません。注文したら、あとは待つ。その軽さが大切です。

誤解②　良いことだけを考えていれば叶う

不安や怒りを感じてはいけない、と自分の感情に蓋をする方がいます。けれど、蓋をした感情は消えません。底に溜まって、かえって波動を重くします。

嫌な気分になったら、「いま、嫌な気分だな」と認めて構いません。認めたうえで、水を飲み、深呼吸をし、切り替える。**感じないようにするのではなく、長く留まらないようにする。** これが正しい扱い方です。

誤解③　願ったら、あとは待つだけでいい

これが最大の誤解です。願いが届くと、チャンスという形で返事が来ます。そのチャンスに手を伸ばすかどうかは、あなたが決めることです。この点は第10章で詳しくお話ししますが、**願うことと動くことは、必ずセットです。**

具体例：実際に起きたこと

ここで、実際に霊力を上げる取り組みをされた方々に起きた変化をご紹介します。

- **宝くじで2億円が当たった**
- **売上が月2,000万円から月2億円になった**
- **店舗数が3店舗から20店舗になった**
- **運命の相手が見つかった**

「さすがに出来すぎている」と感じられるかもしれません。当然の反応だと思います。ですから、数字そのものよりも、その裏で何が起きていたのかに注目してください。

売上が10倍になった方のケースで言えば、ある日突然お金が降ってきたわけではありません。起きたのは、**出会う人が変わった**ということです。方位を取り、身につける石を変え、通う神社を変えていくうちに、それまで接点のなかった層の方から声がかかるようになった。その縁が次の縁を呼び、気づけば売上の桁が変わっていた。本人の言葉を借りれば「やっていることは同じなのに、相手にしてくれる人が変わった」という変化です。

店舗数が3から20に増えた方も同じです。店舗展開でいちばん難しいのは、良い立地と、店を任せられる人材の確保です。どちらもお金だけでは解決できず、タイミングと縁に左右されます。**霊力が上がると、この「タイミングと縁」の部分が噛み合い始めます。**

そして「運命の相手が見つかる」というケース。ここには占いならではの強みがあります。**占いを使うと、相手との相性がいいか悪いかが、はっきりと分かります。**

恋愛で時間を失ういちばんの原因は、「合わない相手に何年も費やしてしまうこと」です。好きという気持ちがあると、合わない部分が見えていても目をつぶってしまう。けれど、正しい占いで命式を見れば、二人の相性は最初の段階でかなりの精度で読めます。合う相手に時間を使い、合わない相手には早めに見切りをつける。それだけで、運命の相手にたどり着くまでの時間は大幅に短くなります。

ここに挙げた事例は個人の体験であり、同じ結果を保証するものではありません。結果には個人差があります。

共通点：結果を出した人は、全員「順番」を守っていた

これらの方々に共通していたことが一つあります。

全員が、正しい順番で取り組んでいたということです。

いきなり高い石を買ったわけでも、いきなり遠くの神社に出かけたわけでもありません。まず自分の命式を正しく知り、土台となる生活を整え、そのうえで神社・石・方位という道具を使った。この順番です。

逆に、結果が出ない方には、はっきりした共通点があります。それは、**自分の命式を間違って理解したまま、開運行動をしている**ということです。

たとえば、本当は「火」を強めるべき人が、占いで「あなたは火が強すぎるから水で抑えなさい」と言われ、水に関するものばかり取り入れている。良かれと思ってやっていることが、アクセルではなくブレーキになっているのです。

これは決して珍しい話ではありません。むしろ、日本で広く使われている四柱推命では、構造上、こうした誤りが起きやすくなっています。

自己診断：いまのあなたの霊力は、高いか低いか

ここで、いまのご自身の状態を確かめてみましょう。次の項目のうち、当てはまるものはいくつあるでしょうか。

霊力が下がっているときのサイン

- 朝、起きた瞬間から体が重い
- 決めるのに時間がかかり、決めた後も「これで良かったのか」と迷い続ける
- 同じ種類のトラブルが、相手を変えて何度も起きる
- 電車の遅れ、忘れ物、行き違いなど、小さな間の悪さが続く
- 人に会うとぐったり疲れる
- 欲しいものを聞かれても、すぐに答えられない

三つ以上当てはまった方は、霊力がかなり下がっている状態です。けれど、落ち込む必要はありません。**下がっているということは、上げたときの変化がそれだけ大きい**ということです。

霊力が上がっているときのサイン

- 朝の目覚めが良く、頭がすっきりしている
- 「こっちだ」と迷わず決められ、その判断が当たる
- 会いたいと思っていた人から、ちょうど連絡が来る
- 必要な情報が、探していないのに目に入る
- 人から頼られ、紹介される機会が増える
- 理由は分からないが「うまくいく気がする」という感覚がある

こちらは、これから取り組みを進めていくなかで、あなたに増えていくサインです。**小さな偶然が増え始めたら、それが霊力が上がり始めた合図です。** 見逃さないよう、覚えておいてください。

大きな結果は、ある日突然やってくるように見えます。けれど実際には、その手前に必ず、こうした小さなサインの積み重ねがあります。宝くじが当たった方も、売上が10倍になった方も、最初に起きたのは「最近、なんだか間がいいな」という、ごく小さな変化でした。

まとめ：霊力は現実を動かす。ただし、入口を間違えなければ

この章の結論を繰り返します。

霊力とは、願いの出力です。出力が上がれば、直感・縁・タイミングが変わり、現実が動きます。

ただし、それには条件があります。入口である「自分を知る」という部分を間違えないこと。ここを間違えると、どれだけ熱心に取り組んでも、努力が逆方向に働いてしまいます。

次の章では、実際の命式を一つお見せしながら、なぜ既存の四柱推命では読み違えるのかを解説します。少し専門的な内容になりますが、この資料の中でも特に重要な章です。難しい用語はその都度説明しますので、安心して読み進めてください。

第 3 章

なぜ既存の四柱推命は外れるのか

目安 7分

結論：占いが外れるのではない。読み方が外れている

この章の結論です。

既存の四柱推命は、外れます。
正しく読めるのは、原典に忠実な「子平推命」です。

「占いなんて当たらない」と感じたことがある方は多いと思います。雑誌やアプリで四柱推命を試して、書いてあることが自分にまるで当てはまらなかった。そういう経験です。

けれど、それは占いそのものが当たらないのではありません。**読み方が簡略化されすぎていて、肝心なところを読み落としているのです。**

理由：日本の四柱推命は「例外」を扱えない

四柱推命のもとになっているのは、中国で千年以上かけて磨かれてきた「子平推命（しへいすいめい）」という命理学です。生まれた年・月・日・時を、それぞれ干支に置き換えた四つの柱で人を読みます。

これが日本に伝わり、広まっていく過程で、一般の人にも扱いやすいように大幅に簡略化されました。星の名前を出して性格を当てはめる、表を引いて吉凶を判断する、といった形です。手軽になった反面、もとの体系が持っていた**「命式全体の力のバランスを読む」**という一番大切な部分が抜け落ちてしまいました。

その結果、何が起きるか。日本の四柱推命の多くは、次のような前提で人を読みます。

- 自分を表す星が強すぎる人は、抑えるものを取り入れると良い
- 自分を表す星が弱すぎる人は、助けるものを取り入れると良い

つまり、「真ん中に寄せればバランスが取れて吉」という考え方です。これは多くの命式では正しく働きます。問題は、**この考え方が通用しない命式が、一定数存在する**ということです。

それが「外格（がいかく）」と呼ばれる特別な命式です。

具体例：ある命式を読んでみる

実際の命式をお見せします。四つの柱を、右から年・月・日・時の順に並べたものです。

時柱	日柱	月柱	年柱
甲	丙	甲	癸
午	寅	寅	未

専門用語が並びますが、要点だけを順番に説明します。

まず、四柱推命では日柱の上の字を「自分自身」として読みます。この命式では「丙（ひのえ）」です。丙は五行でいうと「火」、それも太陽のような大きな火を意味します。

次に、この「火」である自分を、周りの字がどう取り巻いているかを見ます。

- 月柱と時柱の上に「甲（きのえ）」が二つ。甲は「木」で、大木を表します。木は燃えて火を生みますから、**火である自分を強力に応援する存在**です。
- 月柱と日柱の下に「寅（とら）」が二つ。寅は春の始まりの木の気で、甲の根になります。同時に、火が生まれる場所でもあります。
- 時柱の下に「午（うま）」。午は真夏の火そのものです。しかも寅と午は結びついて、さらに火の勢いを強める関係にあります。

- 年柱の上に「癸（みずのと）」。これは雨のような小さな水ですが、足元の「未（ひつじ）」には水の根がなく、宙に浮いた状態です。

まとめると、**この命式は、木と火が圧倒的に強く、それを抑える水や金がほとんど力を持っていない**という構造になっています。

日本の四柱推命で読むとどうなるか

この命式を日本の一般的な四柱推命で読むと、おおむねこう判断されます。

「自分の星が強すぎる。火と木が過剰なので、水や金で抑えてバランスを取りましょう。ラッキーカラーは黒や白。水辺に行くと良い。冷静さを心がけて、出しゃばらないように」

もっともらしく聞こえます。けれど、**これは正反対の助言です。**

子平推命で読むとどうなるか

子平推命では、この命式を「外格」のなかの「従強格（じゅうきょうかく）」と判断します。

従強格とは、ひとことで言えば**「強すぎて、もはや誰にも止められない命式」**です。勢いよく流れる大河を、小さな堤防でせき止めようとしたらどうなるでしょうか。堤防が壊れ、かえって洪水になります。それなら、流れに逆らわず、流れをさらに良くしてやるほうがいい。これが従強格の考え方です。

つまりこの命式の人にとっては、

- **木と火が「味方」。** 強めるほど運が開ける。
- **金と水が「敵」。** 取り入れるほど運が乱れる。

ということになります。日本の四柱推命の助言とは、きれいに逆です。

この人が「水で抑えなさい」という助言を真に受けて、黒い服を着て、水辺に通い、自分を抑えて控えめに生きたとしたら、どうなるか。本来の勢いを自分で殺し、何をやってもうまくいかない、という状態になります。**本人は開運のつもりで、毎日せっせと運を下げていることになるのです。**

冒頭で「多くの人が開運のつもりで、実は運を下げる行動をしている」と予告したのは、このことです。

もう一つの物差し：紫微斗数で石を選ぶ

ここで、もう一つの占いを重ねます。「紫微斗数（しびとすう）」です。

紫微斗数は、子平推命と並んで中国で重んじられてきた占術で、生年月日と生まれた時刻から星の配置図（命盤）をつくり、その人の性質や運勢を読みます。子平推命が命式の「力のバランス」を読むのに長けているのに対し、紫微斗数は**「その人がどんな星を背負っているか」**を具体的に描き出すのが得意です。

先ほどの命式の方を紫微斗数で見ると、「太陽星」と「巨門星（こもんせい）」という二つの星を持っていることが分かります。そして、星ごとに相性の良い石があります。

- **太陽星の人には、クリスタル（水晶）とダイヤモンド。** 太陽は光そのものの星です。光を通し、光を増幅する透明な石が、その輝きを最大にします。
- **巨門星の人には、ヘマタイトとモリオン。** 巨門は暗がりを司り、言葉と洞察に関わる星です。重く、黒く、どっしりとした石が、その深さを安定させ、余計なものから身を守ります。

ここで大事なのは、石の名前を覚えることではありません。**身につけるべき石は、人によって違う**ということです。

「金運にはこの石」「恋愛にはこの石」という選び方は、いわば「頭痛にはこの薬」と同じ発想です。それも間違いではありませんが、体質に合わない薬が効かないように、命式や星に合わない石は、あなたの力にはなりません。合う石を、合う人が身につけたとき、初めて石は働きます。パワーストーンの選び方については、第7章で詳しくお話しします。

補足：「占いが当たらなかった」経験を、読み直してみる

ここまで読んで、思い当たることがある方もいるのではないでしょうか。

- 占いで言われた性格が、自分とまるで違っていた
- 「今年は良い年」と言われたのに、散々な一年だった
- ラッキーカラーや開運アイテムを取り入れたら、かえって調子を崩した

- 「あなたは控えめにしていたほうがいい」と言われたが、控えめにするほど苦しくなった

こうした経験がある方は、もしかすると、外格のような特別な命式をお持ちなのかもしれません。そうでなくても、簡略化された読み方では、命式の大事な部分が読み落とされていた可能性があります。

もしそうだとしたら、**あなたの人生がうまくいかなかったのは、あなたのせいではありません。** 渡された地図が、間違っていただけです。

外格は、決して珍しい命式ではありません。そして、外格の人は、型にはまったときの伸び方が桁外れです。流れに乗れば一気に駆け上がり、逆らえば何をやっても噛み合わない。振れ幅が大きいのです。「若い頃は鳴かず飛ばずだったのに、ある時期から急に人生が動き出した」という方の命式を見ると、外格であることがよくあります。

反対に言えば、こういうことです。**自分の命式を正しく知り、味方の力を強める方向に舵を切った瞬間から、人生は変わり始めます。** 年齢は関係ありません。気づいたときが、始めどきです。

なお、ここでは従強格という一つの型だけを例に挙げましたが、外格には他にもいくつもの型があります。また、外格ではない通常の命式であっても、どの五行が味方になるかの見極めには、季節や文字同士の結びつきなど、細かな判断が必要です。自分で判断がつかないうちは、「自分は火が強いから水」といった単純な当てはめで開運行動を決めないこと。それだけでも、大きな遠回りを避けられます。

まとめ：正しく自分を知ることが、すべての入口

この章の結論をもう一度お伝えします。

既存の四柱推命は、例外的な命式を読み落とします。読み落とせば、助言は正反対になります。

そして、**間違った自己理解のまま開運行動をすると、努力するほど運が下がります。**

だからこそ、霊力を上げるうえでの最初の一歩は、「正しい占いで、自分を正しく知ること」です。自分にとって何が味方で、何が敵なのか。これが分かって初めて、どの神社に行くべきか、どの石を持つべきか、どの方位に動くべきかが決まります。

「自分の命式がどちらなのか分からない」という方も、心配は要りません。この後の章でお伝えする方法のうち、第5章の波動調整ワークは、命式に関係なく誰にでも効く土台の部分です。まずはそこから始められます。

その前に、次の章で「霊力を上げる方法の全体像」を一枚の地図としてお見せします。地図を持ってから歩き始めたほうが、迷いません。

第 4 章

霊力は意図的に上げられる——全体地図

目安 5分

結論：霊力を上げる方法は、すでに分かっている

この章の結論です。

霊力は、意図的に上げられます。
そのための方法は、七つあります。

もう一度言います。**霊力は意図的に上げられます。** 偶然に任せるものでも、選ばれた人だけのものでもありません。

理由：霊力は「筋力」に似ている

霊力は、筋力によく似ています。

生まれつき体格に恵まれた人はいます。けれど、どんな人でも、正しいやり方で鍛えれば筋肉はつきます。逆に、どれだけ恵まれた体格の人でも、何もしなければ衰えていきます。

霊力も同じです。生まれつき勘の鋭い人はいます。しかし、**正しい方法を続ければ、誰でも霊力は上がります。** そして、放っておけば下がります。忙しさに追われ、食事が乱れ、イライラして過ごす日々が続くと、もともと鋭かった人の直感も鈍っていきます。

筋トレに「食事」「トレーニング」「休養」という要素があるように、霊力にも押さえるべき要素があります。それが次の七つです。

具体例：霊力を上げる七つの方法

① 占いを勉強する

意外に思われるかもしれませんが、占いは「受ける」だけでなく、**「学ぶ」ことで霊力が上がります。**

特に、子平推命は霊力が上がる占いです。命式を読むという行為は、目に見えない気の流れを、頭の中で立体的に組み立てる作業です。これを繰り返していると、人を見たとき、場所に入ったとき、物事を決めるときに、言葉になる前の「流れ」が感じ取れるようになってきます。詳しくは第9章でお話しします。

② 奇門遁甲で方位を取る

奇門遁甲（きもんとんこう）は、方位の力を使う占術です。日本では九星気学の吉方位がよく知られていますが、**奇門遁甲は、気学よりもはるかに強烈な方位術**です。

あまりに効果が強く、戦で使われた歴史を持つことから、江戸時代には一般に広めることが禁じられていたと伝えられています。**方位を取るだけで、圧倒的な霊力が身につく。**これが奇門遁甲です。第8章で詳しく扱います。

③ 良質な水を飲む

人の体の半分以上は水でできています。毎日体に入れる水の質は、そのまま体の質、ひいては感覚の鋭さに影響します。**いちばん手軽で、今日から始められる方法**です。

④ 瞑想をする

頭の中がうるさい人は、直感の声が聞こえません。瞑想は、頭の中の雑音を静める技術です。長時間やる必要はなく、1日5分からで十分に変化が出ます。

⑤ 愛と感謝と尊敬の気持ちを持つ

精神論のように聞こえるかもしれませんが、これは技術です。具体的には、**「ありがとう」を言う回数を増やす。** これだけです。回数を増やすという、行動の話です。

⑥ 神社に行く

神社であればどこでも良い、というわけではありません。**霊力が高い神社に行くこと**が大切です。全国には、明らかに空気の違う場所があります。

- 玉置神社（奈良）
- 丹生川上神社（奈良）
- 高千穂（宮崎）
- 三峯神社（埼玉）
- 宗像大社（福岡）

都内であれば、次の場所をおすすめします。

- 水天宮
- 代々木八幡宮
- 豊川稲荷東京別院
- 待乳山聖天

それぞれの特徴と参拝の仕方は、第6章でお伝えします。

⑦ パワーストーンをつける

ルビー、サファイア、エメラルド、クォーツァイト、スティブナイト。力のある石は確かに存在します。ただし、**占い的に合った石であること、そして質の良い石であること。** この二つが揃わなければ意味がありません。

そして、ここはあまり知られていないことですが、**本当にいい石は、知っている人しか手に入りません。** 完全受注生産で、店頭に並ぶことがないからです。この話は第7章で詳しくします。

七つの方法を、三つの層に整理する

七つを並べただけでは、どこから手をつければいいか分かりにくいと思います。そこで、これを三つの層に整理します。この資料の後半は、この三層の順に進みます。

- **第一層　土台（波動調整ワーク）**　水、瞑想、食事、感謝、怒らない、付き合う人。毎日の生活そのものを整える部分です。お金はほとんどかかりません。
- **第二層　道具（占いの三種の神器）**　神社、パワーストーン、方位。外にある力を借りる部分です。
- **第三層　技術（上級者テクニックと適切な努力）**　子平推命の学習、そして伝え方やマーケティングなど、現実での正しい努力です。

家にたとえると、第一層が基礎、第二層が柱と屋根、第三層が内装と暮らし方です。基礎がぐらついた土地に、どれだけ立派な柱を立てても家は建ちません。

土台、道具、技術。この順番を守ること。

第2章で、結果を出した人は全員「順番」を守っていた、とお話ししました。その順番とは、このことです。

補足：霊力を下げる七つの習慣

上げる方法と同じくらい大切なのが、下げないことです。バケツに水を注いでも、底に穴が開いていれば溜まりません。次の七つは、霊力を漏らす穴です。

- **愚痴と悪口。**口にした言葉を最初に聞くのは、自分自身の耳です。
- **寝不足。**眠りが足りないと、感覚は確実に鈍ります。
- **散らかった部屋。**物が滞っている場所では、気も滞ります。特に玄関と水回り。
- **だらだらと見続けるスマートフォン。**他人の情報で頭がいっぱいになり、自分の直感が聞こえなくなります。
- **食べすぎ・飲みすぎ。**体が重いと、心も重くなります。
- **約束を破ること。**人との約束はもちろん、自分との約束もです。「やる」と決めたことをやらないたびに、自分の言葉の力が弱くなります。

- **合わない人に合わせ続けること。**無理をして笑う時間は、静かに力を奪っていきます。

全部を一度に直す必要はありません。ただ、「これは穴だな」と自覚しているだけで、漏れる量は減っていきます。**上げる努力を一つ始めるのと同時に、漏らす習慣を一つやめる。**この組み合わせが、いちばん早く効きます。

補足：上がり始めに起きる「揺り戻し」について

もう一つ、先にお伝えしておきたいことがあります。霊力が上がり始めると、多くの方が一度、揺り戻しを経験します。

- 急に眠くなる、だるくなる
- これまで我慢できていたことが、我慢できなくなる
- 長く続いていた人間関係が、ぎくしゃくする
- 持ち物や仕事、住まいを変えたくなる

「霊力を上げようとしたら、かえって悪いことが起きた」と驚いて、ここでやめてしまう方がいます。もったいないことです。

部屋の大掃除を思い出してください。押し入れの中のものを全部出すと、一時的に部屋は片づける前より散らかります。けれどそれは、きれいになる途中の姿です。**揺り戻しは、古いものが出ていくときの音です。**

合わなくなった縁が離れるのは、新しい縁が入る場所を空けるためです。我慢できなくなるのは、本来の感覚が戻ってきたからです。**揺り戻しが来たら、「効いている」と受け止めて、土台の習慣だけは淡々と続けてください。**多くの場合、二、三週間で落ち着き、その後に流れが変わります。

ただし、体調の不良が長く続く場合は、無理をせず医療機関を受診してください。

よくある質問：全部やらないといけないのか

ここで、よくいただく質問にお答えしておきます。「七つも、12個も、全部やらないと効果は出ないのですか」。

答えは、いいえ、です。**一つでも始めれば、その分だけ霊力は上がります。** 水を変えるだけでも体は変わりますし、ありがとうの回数を増やすだけでも周りの反応は変わります。

ただし、掛け算だということは覚えておいてください。土台が1の人が道具を使えば1×道具。土台が3の人が同じ道具を使えば3×道具です。同じ神社に行き、同じ石を持っても、結果に差が出るのはこのためです。

まとめ：地図は手に入った

この章の結論を繰り返します。

霊力は、意図的に上げられます。方法は七つ。それを土台・道具・技術の三層で、順番に積み上げていきます。

ここまでで、全体の地図が手に入りました。次の章からは、いよいよ具体的な実践に入ります。まずは第一層、土台です。お金をかけずに、今日の夜から始められることばかりですので、読みながら「これならできる」と思うものに印をつけていってください。

第 5 章

波動調整ワーク——霊力の土台をつくる6つの習慣

目安 8分

結論：霊力の8割は、毎日の過ごし方で決まる

この章の結論です。

特別な場所に行く前に、特別な物を持つ前に、
まず、毎日の自分を整える。

霊力の土台は、日常にあります。 ここを飛ばして神社や石に頼っても、ザルで水をすくうようなものです。

理由：人は「波動」で引き合っている

第1章で、「波動が変われば、合わない人が自然に離れていく」とお話ししました。その仕組みをここで説明します。

音叉（おんさ）という道具があります。同じ高さの音叉を二つ並べ、片方を叩くと、触れてもいないもう片方が鳴り出します。共鳴です。高さの違う音叉では、これは起きません。

人と人、人と出来事の間にも、これと似たことが起きています。穏やかな人の周りには穏やかな人が集まり、いつも不満を言っている人の周りには、不満の種になる出来事が集まってきます。皆さんも経験的にご存じのはずです。

自分がどんな状態でいるかが、何を引き寄せるかを決めている。 この「自分の状態」のことを、ここでは波動と呼びます。

波動を整えるための習慣は六つあります。一つずつ見ていきましょう。

具体例：6つの波動調整ワーク

① 瞑想する

結論から言うと、**1日5分、朝に座るだけで構いません。**

瞑想というと、難しい修行のように思われがちですが、やることは単純です。

- 背筋を伸ばして座る。椅子でも床でも構いません。
- 目を閉じ、鼻からゆっくり息を吸い、ゆっくり吐く。
- 呼吸の数を、1から10まで数える。10まで行ったら1に戻る。
- 途中で考えごとが浮かんだら、「考えていたな」と気づいて、また1から数え直す。

これだけです。「雑念が浮かんでしまって、うまくできません」と言われる方が多いのですが、雑念が浮かぶのは失敗ではありません。**雑念に気づいて呼吸に戻る、その一回一回が、瞑想の本体です。** 筋トレでいえば、ダンベルを一回持ち上げたのと同じです。

なぜ瞑想で霊力が上がるのか。直感は、いつもあなたに語りかけています。けれど、頭の中が「あれをやらなきゃ」「あの人にああ言われた」という声でいっぱいだと、直感の小さな声はかき消されてしまいます。瞑想は、その雑音の音量を下げる練習です。続けていると、ふとした瞬間に「こっちだ」という感覚が、はっきり聞こえるようになります。

慣れてきたら、瞑想の最後に一つだけ加えてください。**呼吸が静まったところで、第1章で書いた「一行の欲望」を、すでに叶ったものとして10秒だけ思い描く。** 月収100万円になった自分が、どんな部屋で、誰と、どんな表情で朝を迎えているか。映像と、そのときの気持ちを味わいます。そして、ぱっと手放して目を開ける。

頭が静かなときに置いた願いは、雑音にかき消されず、深いところまで届きます。騒がしい部屋で叫ぶより、静かな部屋でささやくほうが、相手に届くのと同じです。

② 良質な水を飲む

結論は、**毎日口にする水を、意識して選ぶこと**です。

私たちの体は、大人でおよそ6割が水だと言われています。つまり、体という器の中身の半分以上は、あなたが飲んだ水でできているわけです。その水に気を配らないまま、他のことだけ整えようとするのは順番が逆です。

実践は難しくありません。

- 朝起きたら、まずコップ一杯の水を、常温か白湯でゆっくり飲む。
- 甘い清涼飲料水やお酒で水分を取ったつもりにならず、水そのものを飲む。
- 水を選ぶ。浄水器を通す、信頼できる天然水を選ぶなど、自分が「おいしい」と感じる水を。
- 飲む前に、ひとこと「ありがとう」と心の中で言ってから飲む。

最後の一つは半信半疑で構いません。ただ、何かを口にする前に一呼吸おいて感謝するという所作そのものが、あなたの波動を整えます。水は一日に何度も飲みますから、そのたびに自分を整える機会が訪れることになります。

③ 小麦を取らない

結論は、**まず2週間、小麦を控えてみること**です。

パン、パスタ、ラーメン、うどん、お菓子。現代の食生活は小麦であふれています。小麦を食べた後に、眠くなる、頭がぼんやりする、体が重くなる、という感覚がある方は少なくありません。

霊力は、感覚の鋭さです。体が重く、頭に霧がかかった状態では、直感は働きません。だから、**体を軽く、頭を澄んだ状態に保つこと**が大切になります。

いきなり一生やめる必要はありません。2週間だけ、主食を米に置き換えてみてください。そして、朝の目覚め、午後の眠気、気分の浮き沈みがどう変わるかを観察してください。違いを感じたなら、それがあな

たの体の答えです。

体質や持病のある方、食事制限をされている方は、主治医と相談のうえで無理のない範囲で行ってください。

④ 愛と感謝と平和の気持ちを持つ

結論は、**「ありがとう」を言う回数を、今日から増やすこと**です。

「感謝の気持ちを持ちましょう」と言われても、気持ちは意志では動かせません。だから、気持ちではなく行動から入ります。

- コンビニやお店で、会計のときに必ず「ありがとうございます」と声に出す。
- 家族や同僚がしてくれた小さなことに、その場で「ありがとう」と言う。
- 寝る前に、今日あった「ありがたかったこと」を三つ、心の中で数える。

回数を増やすだけで構いません。心がこもっているかどうかは、最初は気にしなくて大丈夫です。**言葉が先、気持ちは後からついてきます。**

感謝に加えて、「尊敬」も意識してください。人の良いところを見つけ、「すごいですね」「さすがですね」と口に出す。人を尊敬できる人は、人からも尊敬されます。第1章で「理想の人と繋がっていたい」という願いを挙げましたが、上のステージの人たちは例外なく、感謝と尊敬を言葉にする習慣を持っています。同じ習慣を持つ人を、彼らは仲間として認めるのです。

⑤ 怒らない——平和なエネルギーを身にまとう

結論は、**怒りは、霊力をいちばん大きく漏らす穴である**ということです。

水を飲み、瞑想をし、感謝を重ねて積み上げたものが、一度の激しい怒りで吹き飛びます。怒った後に、どっと疲れた経験があるはずです。あれは、エネルギーが実際に抜けていった感覚です。

とはいえ、「怒るな」と言われて怒らずに済むなら苦労はありません。怒りが湧くこと自体は止められません。できるのは、湧いた怒りをどう扱うかです。

- **6秒待つ。** 怒りの頂点は長く続きません。口を開く前に、ゆっくり6つ数えます。
- **その場を離れる。** トイレに立つ、水を飲みに行く。場所を変えると気分も切り替わります。

- **「この人も何か事情があるのだろう」と一度だけ考える。** 許す必要はありません。考えるだけで構いません。

そして、怒らない人は「平和なエネルギー」をまとうようになります。この人のそばにいると落ち着く、なぜか安心する、という雰囲気です。人も、お金も、機会も、居心地のいい場所に集まります。**あなた自身が「居心地のいい場所」になること**が、引き寄せの本質です。

⑥ 波動が高い人と一緒にいる

結論は、**誰と時間を過ごすかを、自分で選ぶこと**です。

先ほどの音叉の話を思い出してください。人は、近くにいる人と共鳴します。愚痴ばかり言う人たちの輪の中にいれば、あなたも愚痴が増えます。前向きで、穏やかで、結果を出している人たちの輪の中にいれば、あなたもその水準に引き上げられます。

「波動が高い人」とは、具体的にはこういう人です。

- 一緒にいると、会った後に元気になる人
- 人の悪口を言わない人
- 感謝をよく口にする人
- 実際に、望む結果を出している人

反対に、会った後にぐったり疲れる相手とは、少しずつ距離を取っていきましょう。縁を切る必要はありません。会う頻度を減らすだけで十分です。

「周りにそういう人がいない」という方は、そういう人が集まる場所に足を運んでください。学びの場、志のある人が集まる会。今回のカンファレンスに参加されたこと自体が、すでにその一歩です。

補足：一日の流れに組み込む

6つを別々の「やること」として抱えると、続きません。一日の流れのなかに、あらかじめ置き場所を決めてしまいましょう。

朝

- 起きたら、カーテンを開けて光を浴びる。
- コップ一杯の水を、「ありがとう」と心の中で言ってから飲む。
- 5分座って、呼吸を数える。
- 今日一日、どんな気分で過ごすかを決める。「今日は穏やかに過ごす」と一言、心の中で宣言します。

朝の10分で、その日一日の波動の基準が決まります。**朝を整えた日は、多少のことがあっても崩れにくくなります。**

日中

- 会う人、すれ違う人に、「ありがとうございます」を出し惜しみしない。
- 昼食は小麦を避け、ご飯ものを選ぶ。
- イラッとしたら6秒。席を立って水を飲む。

夜

- 寝る一時間前には、スマートフォンを手の届かない場所に置く。
- 湯船に浸かる。一日の間に体についたものを、湯で流すつもりで。
- 布団の中で、今日ありがたかったことを三つ数える。

夜の過ごし方は、翌朝の状態を決めます。不安なニュースや他人の投稿を見ながら眠ると、その気分のまま朝を迎えることになります。**眠る直前に考えていたことが、眠っている間じゅう、あなたの中で育ちます。**だから、一日の最後は感謝で閉じてください。

よくあるつまずき

ここで、実践された方からよく聞く声にお答えします。

「瞑想中に眠ってしまいます」——それは体が休息を求めている合図です。まずはしっかり眠ってください。朝、顔を洗ってから座ると眠りにくくなります。

「家族が協力的でなく、食事を変えられません」——全部を変えなくて構いません。自分で選べる一食、たとえば昼食だけを変えるところから始めてください。

「職場に、どうしても腹の立つ人がいます」——その人を変えることはできません。できるのは、自分がその人に渡すエネルギーの量を減らすことです。その人のことを考える時間を、一日のうち5分でも減らす。それが最初の一歩です。そして不思議なことに、あなたの側が反応しなくなると、相手の態度のほうが変わっていくことがよくあります。

「何日か続けたけれど、変化を感じません」——**変化は、まず体に出ます。** 目覚め、午後の眠気、肩の重さ。出来事の変化を探す前に、体の変化を観察してみてください。

まとめ：6つのうち、今日やるものを一つ決める

この章の結論を繰り返します。

霊力の土台は日常にあります。瞑想、水、小麦を控える、感謝、怒らない、付き合う人を選ぶ。この6つで波動が整います。

全部を一度に始める必要はありません。**今日やるものを、一つだけ決めてください。** おすすめは「朝一杯の水を、ありがとうと言ってから飲む」です。10秒で終わり、お金もかからず、明日の朝からできます。

さて、土台が整ったら、次は道具です。次の章から三章にわたって、「占いの三種の神器」をお伝えします。神社、パワーストーン、方位。この三つは、土台の上に立てる柱です。まずは、神社から始めましょう。「神社なら、もう何度も行っている」という方ほど、次の章は役に立つはずです。

第 6 章

占いの三種の神器①　適切な神社に行く

目安 6分

結論：神社は「どこでもいい」わけではない

この章の結論です。

霊力を上げたいなら、
霊力が高い神社を、知って、選んで、行く。

三種の神器の一つ目は、神社です。大事なのは「適切な」という言葉です。**ちゃんとした神社を知ること。**これが出発点になります。

理由：場所には、力の差がある

温泉を思い浮かべてください。同じ「温泉」という看板を掲げていても、源泉かけ流しの湯と、沸かし直して循環させた湯とでは、入った後の体の感覚がまるで違います。

神社も同じです。長い年月にわたって祈りが積み重ねられ、今も大切に守られている場所には、鳥居をくぐった瞬間に分かる空気の違いがあります。背筋が自然に伸びる、音が遠くなる、呼吸が深くなる。そういう感覚を覚えたことがある方も多いでしょう。

霊力が高い場所に身を置くと、自分の霊力もその高さに引き上げられます。前の章でお話しした「波動が高い人と一緒にいる」の、場所版だと考えてください。

具体例①：全国の、霊力が高い神社

まず、全国から五つ挙げます。どこも簡単に行ける場所ではありませんが、だからこそ守られてきた力があります。

玉置神社（奈良県・十津川村）

紀伊山地の奥深く、玉置山の山頂近くに鎮座する神社です。車でも長い山道を越えなければたどり着けず、昔から「呼ばれた人しか行けない」と言われてきました。予定を立てても、なぜか都合がつかなくなる。逆に、ふと思い立ったら不思議とすんなり行ける。そういう話が絶えない場所です。樹齢千年を超える巨大な杉に囲まれた境内は、立っているだけで自分の輪郭が澄んでいくような感覚があります。**人生の大きな節目、何かを根本から変えたいとき**に訪れたい神社です。

丹生川上神社（奈良県）

水を司る神様をお祀りする、古い由緒を持つ神社です。上社・中社・下社の三社があります。水は、すべての命のもとであり、浄化と流れの象徴です。第5章で水の大切さをお話ししましたが、**滞っているものを流したい、流れを良くしたい**というときに力を借りたい場所です。

高千穂（宮崎県）

日本の神話で、天から神々が降り立ったと伝えられる土地です。高千穂神社、天岩戸神社をはじめ、土地全体が神話の舞台になっています。**自分の原点に立ち返りたい、新しく始めたい**というときに向いています。

三峯神社（埼玉県・秩父）

秩父の山深くにあり、狼を神のお使いとする神社です。関東にお住まいの方にとっては、比較的訪れやすい本格的な聖地です。空気が鋭く、強い。**勝負ごとの前、覚悟を決めたいとき、悪い流れを断ち切りたいとき**に訪れる方が多い場所です。

宗像大社（福岡県）

三柱の女神をお祀りする、古代から続く大社です。海の道を守る神様であり、あらゆる「道」の神様とされています。**進む道に迷っているとき、事業や人生の航路を定めたいとき**に参拝したい場所です。

具体例②：都内の、霊力が高い場所

遠くまで行けない方のために、都内で四つ挙げます。仕事帰りにも寄れる場所です。

- **水天宮（日本橋）**　安産や子授けで知られますが、もとは水の神様の系譜です。街の真ん中にありながら、境内に上がると空気が切り替わります。この資料の最後でお伝えする護符は、ここでいただくものです。
- **代々木八幡宮（渋谷区）**　都心とは思えない深い木立に囲まれた神社です。境内から古代の住居跡が見つかっており、はるか昔から人が暮らし、祈ってきた土地であることが分かっています。
- **豊川稲荷東京別院（赤坂）**　神社ではなく寺院ですが、商売繁盛、芸事の上達を願う人が絶えない場所です。事業をされている方には特におすすめします。
- **待乳山聖天（浅草）**　こちらも寺院です。小高い丘の上にあり、古くから強い力を持つことで知られています。大根をお供えする独特の作法があり、夫婦和合と商売繁盛のご利益で信仰されています。

神社と寺院ではお参りの作法が異なります。神社は二礼二拍手一礼、寺院は手を打たずに静かに合掌します。ここだけは気をつけてください。

遠くの名社と近くの神社、どう使い分けるか

「遠くの有名な神社に年に一度行くのと、近くの神社にこまめに通うのと、どちらが良いですか」という質問をいただきます。

答えは、両方です。役割が違います。

遠くの名社は、大きく流れを変えるための場所。人生の節目、事業の転機、どうしても叶えたい願いがあるとき。時間とお金をかけて足を運ぶという行為そのものが、あなたの覚悟の表明になります。年に一度か二度、ここぞというときに訪れてください。

近くの神社は、日々の状態を整えるための場所。都内の四か所、あるいはご自宅の近くの氏神様。月に一度、できれば毎月一日や十五日など、日を決めて通います。大きなお願いをするというより、「今月も無事に過ごせました。ありがとうございます」と報告に伺う感覚です。

人間関係にたとえると分かりやすいでしょう。困ったときだけ連絡してくる人と、普段から顔を見せて近況を伝えてくれる人。いざというとき、どちらに力を貸したくなるでしょうか。**普段からの「ご挨拶」の積み重ねが、ここぞというときの後押しになります。**

さらに、第8章でお話しする方位と組み合わせると、神社参拝の力は一段と大きくなります。同じ神社でも、「いつ、どの方角から向かうか」で受け取れるものが変わるのです。これは第8章の楽しみに取っておいてください。

霊力を受け取る参拝の仕方

同じ神社に行っても、受け取れる人と受け取れない人がいます。違いは、参拝の仕方です。

- **午前中に行く。**朝の境内は空気が澄んでいます。できれば人の少ない時間帯を選びます。
- **鳥居の前で一礼し、参道は端を歩く。**真ん中は神様の通り道とされています。
- **手水で手と口を清める。**形だけでなく、ここで気持ちを切り替えます。
- **最初に名前と住所を伝え、感謝を述べる。**「いつもありがとうございます」から始めます。
- **お願いは「宣言」の形でする。**「収入を上げてください」ではなく「来年までに月収100万円にします。お力添えをお願いします」。

最後の点が特に重要です。**神社は、お願いを丸投げする場所ではなく、決意を伝えに行く場所です。**第1章で書いていただいた「一行の欲望」を、ここで使います。自分は何を望み、そのために何をするのか。それをはっきり伝えた人に、力は貸し与えられます。

そして、参拝の後はすぐにスマートフォンを見ないこと。境内でしばらく静かに過ごし、受け取ったものを体になじませてから帰ってください。

補足①：神社でやってはいけないこと

力を受け取りに行ったつもりが、かえって失礼を重ねてしまうことがあります。次の点には気をつけてください。

- **お願いごとだけを並べて帰る。** 感謝が先、お願いは後です。
- **体調が悪いとき、気分がひどく荒れているときに無理に行く。** 整った状態で伺うのが礼儀です。
- **境内の石や枝、葉を持ち帰る。** その土地のものは、その土地に。
- **写真を撮ることに夢中になる。** 撮影が禁じられている場所もあります。まず参拝、撮るなら許されている場所で最後に。
- **一日にいくつもはしごして、どこも駆け足で済ませる。** 数より、一か所で過ごす時間の深さです。

補足②：参拝の後に起きること

霊力の高い場所に参拝した後には、いくつかの変化が起きることがあります。

- 強い眠気に襲われる
- 数日のうちに、懐かしい人から連絡が来る
- 部屋を片づけたくなる、持ち物を手放したくなる
- 合わなかった人間関係が、動き出す

特に、眠気と片づけの衝動は多くの方が経験します。これは、**古いものが出ていき、新しいものが入る準備が始まった合図**です。逆らわずに、眠いときは眠り、片づけたくなったら片づけてください。

そして、願いが叶ったとき、あるいは良い変化が起きたときには、必ず「お礼参り」に伺うこと。**願うときだけ訪れ、叶ったら忘れる人に、次の力は貸し与えられません。** 人との付き合いと、まったく同じです。お世話になった人にお礼を言いに行く。それができる人のところに、次の良い話は集まります。

補足③：自分に合う神社はどう見分けるか

「挙げていただいた神社は、誰にでも合うのですか」という質問をよくいただきます。

ここに挙げた場所は、どなたが訪れても力を感じやすいところを選んでいます。ただ、さらに一歩進めるなら、**自分の命式に合った神社**を選ぶことができます。第3章の命式の方であれば、木と火が味方でしたから、深い森に抱かれた神社や、太陽にゆかりの深い神社が、特に力になります。水の気の強い神社は、この方にとっては頻繁に通う場所ではない、ということになります。

また、理屈抜きの感覚も大切にしてください。鳥居をくぐったときに呼吸が深くなる、なぜか懐かしい、帰りたくないと感じる。そういう場所は、あなたに合っています。反対に、有名な神社でも、落ち着かない、頭が重くなる、という場所は、いまのあなたには合っていないのかもしれません。**土台を整えていくほど、この感覚ははっきりしてきます。**

まとめ：知っている人だけが、正しい場所に行ける

この章の結論を繰り返します。

神社は、どこでもいいわけではありません。霊力が高い場所を知り、決意を持って参拝すること。

まずは今月中に、都内の四か所のうち一つに足を運んでみてください。行き先を決めて、手帳に書き込む。それだけで流れが動き始めます。

次の章は、三種の神器の二つ目、パワーストーンです。第3章で「石は人によって違う」とお話ししました。では、どう選べばいいのか。そして、なぜ「本当にいい石は、知っている人しか手に入らない」のか。その理由をお話しします。

第 7 章

占いの三種の神器②　適切なパワーストーンを身につける

目安 6分

結論：石は「合うもの」を「質の良いもの」で持つ

この章の結論です。

パワーストーンは、
占い的に合った石を、質の良いもので。

三種の神器の二つ目は、パワーストーンです。ここでも鍵は「適切な」という言葉です。そのためには、**パワーストーンの勉強を、ちゃんとすること**が欠かせません。

理由：石選びで失敗する人には、二つの共通点がある

「パワーストーンを買ったけれど、何も変わらなかった」という声をよく聞きます。こうした方には、二つの共通点があります。

一つ目は、**自分に合わない石を選んでいること**です。

第3章の命式を思い出してください。あの方にとっては、木と火が味方で、金と水が敵でした。もしあの方が、「落ち着きが出るから」と勧められて、水の性質を持つ石を身につけ続けたらどうなるでしょうか。毎日、敵の力を体に貼り付けて歩くことになります。

二つ目は、**質の低い石を選んでいること**です。

市場に出回っている石の多くは、見た目を良くするために、何らかの加工が施されています。色を濃くするために熱を加える、染料で色をつける、割れ目に樹脂を流し込む、細かい石のかけらを溶かして固め直す。こうした加工そのものは宝石の世界では広く行われていることですが、霊力という観点から言えば、話は別です。

強い力を持つのは、溶かされていない石、人の手で作り変えられていない石です。

石は、何万年、何億年という時間をかけて、地球の中で育ちます。その時間そのものが、石の力です。溶かして固め直してしまえば、形は石でも、積み重ねてきた時間は途切れてしまいます。

具体例①：力のある石

まず、石そのものが強い力を持つとされる代表的なものを挙げます。

- **ルビー**　燃えるような赤。生命力、情熱、勝負運。火の性質を持ち、行動する力を後押しします。
- **サファイア**　深い青。知性、誠実、冷静な判断。大きな決断を下す立場の人が持つ石です。
- **エメラルド**　鮮やかな緑。愛、調和、癒やし。人間関係を豊かにしたい人に。
- **クォーツァイト**　細かな水晶の粒が、長い年月の圧力で一つに固まった石。粘り強さ、安定、継続の力。
- **スティブナイト**　銀色に輝く、剣のような結晶。変容、決断、古いものを断ち切って次の段階へ進む力。

ただし、繰り返しますが、「強い石」と「あなたに合う石」は別の話です。

具体例②：自分に合う石の選び方

では、自分に合う石はどうやって選べばいいのか。物差しは二つあります。

物差し①　子平推命で、味方の五行を知る

子平推命で命式を読めば、木・火・土・金・水のうち、どれが自分の味方かが分かります。味方の五行に対応する色や性質を持つ石を選ぶのが基本です。火が味方なら赤系の石、木が味方なら緑系の石、と

いう具合です。

ここで第3章の話が効いてきます。**日本の四柱推命で「あなたに必要な五行」を調べると、外格の人は正反対の答えを受け取ってしまいます。** 石選びの前に、命式を正しく読むことがどうしても必要なのは、このためです。

五行と石の対応を、ごく大まかな目安として挙げておきます。

- **木が味方の人**　緑の石。エメラルド、翡翠、アベンチュリンなど。成長、発展、人とのつながり。
- **火が味方の人**　赤や紫の石。ルビー、ガーネット、アメジストなど。情熱、表現、人を惹きつける力。
- **土が味方の人**　黄や茶の石。シトリン、タイガーアイなど。安定、信頼、蓄える力。
- **金が味方の人**　白や金属光沢の石。水晶、ムーンストーン、ヘマタイトなど。決断、整理、実りを刈り取る力。
- **水が味方の人**　黒や青の石。サファイア、ラピスラズリ、オニキス、モリオンなど。知恵、流れ、柔軟さ。

これはあくまで入口の目安です。同じ色でも石によって性質は異なりますし、命式のどこを補いたいかによって、最適な石は変わります。正確には、命式全体を見たうえで選ぶ必要があります。

物差し②　紫微斗数で、自分の星を知る

もう一つの物差しが紫微斗数です。第3章の例では、こうでした。

- 太陽星の人：**クリスタル（水晶）、ダイヤモンド**
- 巨門星の人：**ヘマタイト、モリオン**

太陽星は、周りを明るく照らす星です。この星を持つ人が透明な水晶やダイヤモンドを身につけると、持ち前の明るさと影響力がさらに遠くまで届くようになります。

巨門星は、物事の裏側を見抜く洞察と、言葉の力を持つ星です。その反面、口が災いを招いたり、疑いや不安を抱え込みやすい面もあります。黒く重いヘマタイトやモリオンは、その影の部分を引き受け、地に足をつけさせてくれます。

あの命式の方は、太陽と巨門の両方を持っていました。つまり、**光を広げる石と、影を守る石の両方が必要**ということです。一人の人に必要な石が一種類とは限らない、という良い例です。

本当にいい石は、知っている人しか手に入らない

ここで、あまり表では語られない話をします。

本当にいい石は、知っている人しか手に入りません。

理由は単純です。加工されていない、質の高い天然の石は、そもそも採れる数がごくわずかです。大量に仕入れて店頭に並べ、不特定多数に売る、ということができません。だから、本当にいい石を扱うところは、**完全受注生産**という形を取ります。その人の命式を見て、合う石を探し、その人のためだけに仕立てる。店先に並ぶことはありませんから、存在を知らなければ出会いようがないのです。

私がおすすめしているのは、銀座の瑤堂（ようどう）です。石の質に対して妥協がなく、加工に頼らない天然の石を扱っています。

- おすすめのパワーストーン屋：https://youdou-crystals.com/

瑤堂では、「武則天后の紹介」とお伝えいただくと、12月のみ10%OFFになります。

また、第12章でご案内する個別説明会にお越しいただいた方には、あなたの命式に合わせたオリジナルの石をお作りすることもできます。「自分に合う石がどれなのか分からない」という方は、そちらをご利用ください。

石は、安いものをいくつも持つより、**本当に合う一つを、長く身につけること**をおすすめします。

石との付き合い方

手に入れた後の扱いも大切です。

- **毎日身につける。** 引き出しにしまったままでは意味がありません。肌に触れる形がいちばんです。
- **定期的に浄化する。** 月に一度、流水にくぐらせる、月の光に当てるなど。ただし石によっては水や日光に弱いものがあるので、購入先に確認してください。
- **人に触らせない。** 石は持ち主の気を覚えます。むやみに他人に貸したり、触らせたりしないこと。

- **朝、願いを思い浮かべてから身につける。** 石は増幅器です。何を増幅させるかは、あなたが決めます。

補足：石についてのよくある質問

高い石でないと、効果はないのですか

値段そのものが力を決めるわけではありません。大切なのは、合っていること、そして加工に頼らない天然の石であることです。ただ、質の良い天然の石は数が少ないため、結果として安くはなりません。**安さを理由に合わない石を三つ買うより、合う石を一つ、納得して持つほうが、はるかに力になります。**

いくつも重ねてつけていいですか

石同士にも相性があります。味方の五行の石と、敵の五行の石を一緒に身につければ、力は打ち消し合います。「なんとなく良さそうなもの」を重ねていくと、たいていこの状態になります。**数を増やすのではなく、絞ること。** 迷ったら、いちばん合う一つだけにしてください。

ブレスレットが切れました。不吉なことでしょうか

不吉ではありません。古くから、石が持ち主の身代わりになった、役目を終えた、と受け止められてきました。感謝をして、新しいものに替える時期だと考えてください。

いま持っている石は、どうすればいいですか

まず、自分の命式と星を正しく知ること。そのうえで、合っている石は使い続け、合っていない石は感謝をして手放すか、身につけずに保管します。「高かったから」「人にもらったから」という理由で、合わない石を身につけ続ける必要はありません。

石を持てば、それだけで願いは叶いますか

叶いません。第4章でお話ししたとおり、石は道具です。土台が整っていなければ力は半減しますし、持っているだけで動かなければ、現実は変わりません。**石は、動くあなたの背中を押す追い風です。** 風だけで船が港を出ることはありません。

まとめ：石は、あなたを知ってから選ぶ

この章の結論を繰り返します。

パワーストーンは、占い的に合ったものを、質の良いもので。溶かされていない天然の石を、自分の命式と星に合わせて選ぶこと。

石選びで大切なのは、「どの石が強いか」ではなく「自分は何者か」です。ここでもやはり、正しく自分を知ることが入口になります。

次の章は、三種の神器の三つ目、そしてこの資料の中でいちばん即効性が高いもの——奇門遁甲です。江戸時代には禁じられていたと伝わるほどの方位術とは、どんなものなのか。お話しします。

第 8 章

占いの三種の神器③　奇門遁甲で適切な方位を取る

目安 6分

結論：方位を取るだけで、霊力は圧倒的に上がる

この章の結論です。

奇門遁甲で方位を取る。
それだけで、圧倒的な霊力が身につきます。

三種の神器の三つ目は、方位です。そして方位術の中で、私が最も強力だと考えているのが奇門遁甲（きもんとんこう）です。

理由：奇門遁甲は、気学とは別次元の方位術である

方位と聞いて、多くの方が思い浮かべるのは九星気学の「吉方位」でしょう。今年は東が吉、来月は南が凶、といったものです。気学は分かりやすく、日本で広く親しまれています。

しかし、**奇門遁甲は、気学よりもはるかに強烈な方位術です。**

違いは、読み取る情報の量と細かさにあります。気学が主に九つの星の巡りで方位を見るのに対し、奇門遁甲は、天の気、地の気、人の気、そして神の働きという複数の層を重ね合わせて、一つひとつの方位を読みます。さらに、年や月の単位だけでなく、**二時間ごとに盤が切り替わります。**「この日の、この時間に、この方角へ動く」というところまで絞り込むのです。

大まかな天気予報と、分刻みの雨雲レーダーくらいの差があると考えてください。

奇門遁甲は、もともと古代中国で、戦に勝つための軍略として使われた術です。いつ、どの方角から攻めれば勝てるか。どの方角に退けば生き延びられるか。国の存亡を左右する判断に用いられたため、長く門外不出の秘伝とされてきました。日本に伝わった後も、あまりに効果が強いことから、**江戸時代には一般に広めることが禁じられていたと伝えられています。**

裏を返せば、それほどまでに「効く」と認められていた術だということです。

奇門遁甲の盤には、何が書かれているのか

仕組みを少しだけご紹介します。奇門遁甲の盤は、東西南北とその間を合わせた八つの方位に分かれ、それぞれの方位に、いくつもの要素が配置されます。

なかでも分かりやすいのが「八門（はちもん）」です。八つの方位それぞれに、門が一つずつ割り当てられます。

- **開門（かいもん）**　物事が開ける門。仕事、事業、新しい始まりに。
- **休門（きゅうもん）**　安らぎと回復の門。人間関係の調和、心身を整えたいときに。
- **生門（せいもん）**　生み出し、育つ門。財運、商売、利益に。
- 景門、杜門、傷門、驚門、死門　それぞれに役割がありますが、使いどころを選ぶ門です。

開門・休門・生門は、古くから三つの吉門として重んじられてきました。「いま、開門がどの方角に来ているか」が分かるだけでも、動き方が変わります。

実際にはこれに、九つの星、八つの神、天と地の干の組み合わせが重なります。門が良くても、他の要素との組み合わせが悪ければ使えません。逆に、すべてが美しく噛み合う瞬間があり、それを見つけ出して動くのが、奇門遁甲の醍醐味です。**その組み合わせは膨大で、だからこそ、読める人が限られ、秘伝とされてきました。**

具体例：方位を取るとは、具体的に何をするのか

「方位を取る」というのは、難しいことではありません。**良い時間に、良い方角へ移動し、そこでしばらく過ごす。**これだけです。

流れを説明します。

- **① 目的を決める。**金運なのか、良縁なのか、仕事なのか。目的によって使う方位が変わります。
- **② 盤を読んで、日時と方角を決める。**奇門遁甲の盤から、目的に合った吉方位と時間帯を割り出します。
- **③ 自宅から、その方角へ移動する。**距離は目的によって変わりますが、近場でも効果はあります。
- **④ 現地で過ごす。**その土地の水を飲む、その土地のものを食べる、神社にお参りする。その場所の気を体に取り入れます。
- **⑤ 寄り道せずに帰る。**

ここで気づいた方もいるかもしれません。**方位取りは、三種の神器をすべて掛け合わせることができます。**

吉方位にある神社に、自分に合ったパワーストーンを身につけて参拝する。そこで良質な水をいただく。これで、神社・石・方位、そして土台である水まで、一度に重なります。個別にやるのとは比べものにならない力が働きます。売上の桁が変わった方、店舗数が大きく増えた方は、例外なくこの掛け合わせを実践していました。

なぜ方位で霊力が上がるのか

「移動するだけで運が変わるなんて」と思われる方もいるでしょう。

私たちは、普段ほとんど同じ場所を行き来して暮らしています。家と職場、いつもの店。同じ場所には同じ気が流れ、同じ人がいて、同じ出来事が起きます。運が停滞していると感じるとき、たいていは行動範囲も固定されています。

方位を取るということは、**意図を持って、良い気の流れている場所に自分の身を運ぶ**ということです。場所が変われば、出会う人が変わり、目に入るものが変わり、考えることが変わります。それも「たまたま」ではなく、最も良い時間と方角を選んだうえで動くのですから、起きる変化の質が違います。

川の流れにたとえるなら、流れに逆らって泳ぐのをやめ、いちばん勢いのある流れに自分から乗りに行くようなものです。同じ力で泳いでも、進む距離がまるで変わります。

補足：方位取りを暮らしのなかで使う

方位取りは、特別な旅行のときだけのものではありません。日々の暮らしのなかで、さまざまな場面に使えます。

- **大事な商談や面接の前に。** 事前に吉方位を取っておくと、当日の流れが変わります。
- **新しい店や事務所を探すときに。** 自宅や本拠地から見て、良い方角にある物件を選びます。
- **お見合いや、大切な人との初めての食事に。** 会う場所と時間を、盤に合わせて決めます。
- **旅行に。** せっかく出かけるなら、行き先と出発の時間を吉方位に合わせます。旅行そのものが開運行動になります。
- **引っ越しに。** 住まいを移すことは、最も影響の大きい方位取りです。それだけに、必ず専門家に見てもらってください。

第2章でご紹介した、店舗数が3から20に増えた方は、出店のたびに方位を確認していました。「どの物件にするか」を、立地や家賃だけでなく、方位という物差しでも測っていたのです。**同じ努力を、良い流れの上でするか、悪い流れの上でするか。** 積み重なれば、その差は途方もなく大きくなります。

また、方位を取った後の変化の出方についても触れておきます。多くの場合、変化はすぐに、分かりやすい形で現れるわけではありません。数日後に思いがけない連絡が来る、数週間後に話がまとまる、といった形で現れます。なかには、取った当日に強い眠気やだるさを感じる方もいます。神社の参拝後と同じで、体が新しい気になじもうとしている反応です。その日は無理をせず、早めに休んでください。

注意点：自己流でやらないこと

一つだけ、強くお伝えしておきたいことがあります。

奇門遁甲は、自己流でやらないでください。

効果が強いということは、間違えたときの影響も大きいということです。吉方位のつもりで凶方位に動いてしまえば、その分だけ流れは乱れます。盤の読み方には流派による違いもあり、インターネットで拾った断片的な情報をつなぎ合わせて実践するのは危険です。

きちんと体系立てて学ぶか、信頼できる専門家に方位を出してもらうか。必ずどちらかにしてください。

奇門遁甲で霊力に目覚めたい方のために、詳しいご案内を用意しています。

- 奇門遁甲で霊力に目覚める：https://eruanna.zhou-uranai.com/lp/

まとめ：動いた人から、運が変わる

この章の結論を繰り返します。

奇門遁甲は、気学よりはるかに強烈な方位術です。良い時間に、良い方角へ動く。それだけで、霊力は圧倒的に上がります。

そして、神社・石・方位の三つは、ばらばらに使うものではなく、掛け合わせて使うものです。これで、占いの三種の神器がすべて揃いました。

ここまでが「道具」の話でした。次の章からは「技術」に入ります。まずは上級者向けのテクニックです。道具を人から借りる段階から、自分で読み解ける段階へ。そこに進むと、霊力は別の次元に入ります。

第 9 章

上級者テクニック——子平推命を学ぶ

目安 5分

結論：占いは「受ける」より「学ぶ」ほうが、霊力が上がる

この章の結論です。

子平推命は、学ぶこと自体が、
霊力を上げる修行になります。

ここまでの章で、何度も「正しく自分を知ることが入口」とお話ししてきました。その最も確かな方法が、自分で子平推命を学ぶことです。

理由：命式を読む訓練が、見えないものを読む力を育てる

なぜ、占いを学ぶと霊力が上がるのか。理由は三つあります。

理由①　気の流れを読む「回路」ができる

第3章で、一つの命式を読みました。丙という火があり、甲という木がそれを生み、寅と午が結びついて火を強め、癸の水は根がなく浮いている。あの読み方は、八つの文字の間にある力の流れを、頭の中で立体的に組み立てる作業でした。

これを何十、何百という命式で繰り返していると、**目に見えない力の流れを読む「回路」が、頭の中にできあがります。**

すると、命式を見ていないときにも、その回路が働くようになります。初対面の人と話していて「この人は今、勢いがある」と感じる。物件を見に行って「ここは流れが滞っている」と感じる。提案を受けて「これは今ではない」と感じる。言葉になる前の感覚が、はっきりした輪郭を持つようになるのです。これが、霊力が上がるということの中身です。

理由②　自分の取扱説明書が手に入る

自分の命式が読めるようになると、自分にとって何が味方で何が敵か、いつが攻めどきでいつが守りどきかが、自分で分かるようになります。

これまで「なぜかうまくいかない時期」「なぜか同じ失敗を繰り返す場面」だと思っていたものに、理由が見えてきます。理由が分かれば、対策が打てます。**迷いが減り、決断が速くなります。** 迷いというのは、それだけで大きなエネルギーの漏れですから、迷いが減るだけでも霊力は上がります。

理由③　人を見る目が変わる

相手の命式が読めると、その人の強み、弱み、今置かれている運気が分かります。

苦手だった上司が、命式を見たら「なるほど、こういう星だからああいう言い方になるのか」と腑に落ちる。すると、腹が立たなくなります。第5章の「怒らない」が、努力ではなく理解によって自然にできるようになるのです。

恋愛でも、事業でも、同じです。第2章で「占いを使うと、相性がいいか悪いかがはっきり分かる」とお話ししましたが、**それを誰かに見てもらうのではなく、自分で判断できるようになる。** 採用、取引先選び、パートナー選び。人生の重要な場面で、この力がどれほど役に立つかは、想像していただければ分かると思います。

具体例：なぜ「子平推命」でなければならないのか

ここで改めて、なぜ一般的な四柱推命ではなく、子平推命なのかを確認しておきます。

第3章の命式を思い出してください。日本の四柱推命では「強すぎるから抑えなさい」と読み、子平推命では「従強格だから、流れに従って強めなさい」と読みました。正反対です。

簡略化された占いを学んでも、簡略化された答えしか出せません。 間違った地図を一生懸命に覚えても、目的地には着けないのと同じです。

子平推命は、覚えることが多く、決して簡単な学問ではありません。五行の関係、十干と十二支の性質、季節による力の強弱、命式全体の型の見極め。一つひとつ積み上げていく必要があります。

けれど、だからこそ価値があります。**簡単に身につくものは、誰でも持っています。** 時間をかけて身につけた読みの力は、一生使える財産になります。

入門：十干のイメージをつかむ

「難しそうだ」と感じた方のために、最初の一歩だけ、ここで体験していただきます。

子平推命の基本は、十干（じっかん）と呼ばれる十個の文字です。それぞれが、自然界の姿に置き換えて理解されます。

- **甲（きのえ）**　まっすぐ天に伸びる大木。向上心、リーダー気質。
- **乙（きのと）**　しなやかな草花や蔓。柔軟さ、粘り強さ、協調。
- **丙（ひのえ）**　空に輝く太陽。明るさ、華やかさ、分け隔てのなさ。
- **丁（ひのと）**　暗がりを照らす灯火。繊細さ、情熱、洞察。
- **戊（つちのえ）**　どっしりとした山。安定感、包容力、動じなさ。
- **己（つちのと）**　作物を育てる田畑。面倒見の良さ、育てる力。
- **庚（かのえ）**　鍛えられた鋼や刀。決断力、正義感、行動の速さ。
- **辛（かのと）**　磨かれた宝石。美意識、気高さ、繊細な感性。
- **壬（みずのえ）**　大河や海。スケールの大きさ、自由、知恵。
- **癸（みずのと）**　雨や露。優しさ、慎重さ、浸み込むような知性。

第3章の命式で、自分を表す字は「丙」でした。太陽です。太陽は、木があれば燃え続け、春から夏にかけて最も力を発揮します。あの命式は、春に生まれ、大木を二本も持ち、真夏の火まで備えた太陽でした。

燦々と輝くためにすべてが揃っている太陽を、わざわざ雨雲で覆う必要はない。 従強格の考え方が、イメージでも納得できるのではないでしょうか。

このように、子平推命は、記号を暗記する学問ではなく、**自然の風景として人を読む学問**です。「この人は、秋の山に咲いた一輪の花だ」「この人は、真冬の海だから、まず温める火が要る」。風景が浮かぶようになると、読むことそのものが楽しくなります。楽しいことは、続きます。

ご自身の生まれた日がどの干にあたるかは、命式を出せばすぐに分かります。まずは、自分がどの自然に生まれついているのかを知るところから始めてみてください。

応用：相性は、こうして分かる

第2章で、占いを使うと相性がはっきり分かる、とお話ししました。その考え方の入口だけ、ここでお伝えします。

相性の基本は、とてもシンプルです。**相手が、自分の「味方の五行」を持っているかどうか。**

第3章の命式の方は、木と火が味方でした。この方にとって、木や火の気を豊かに持っている相手は、一緒にいるだけで力をくれる存在です。会うと元気になり、話が弾み、物事がうまく運びます。反対に、金や水の気が非常に強い相手といると、悪い人ではないのになぜか疲れる、噛み合わない、ということが起きます。

これは、どちらが良い人か悪い人か、という話ではありません。**相性とは、人柄の優劣ではなく、気の組み合わせです。** だから、「あの人と合わないのは、自分に問題があるからだ」と自分を責める必要もなければ、相手を責める必要もありません。

この見方を知っていると、人間関係の悩みの多くが軽くなります。

- 恋愛では、惹かれる相手と、一緒にいて運が上がる相手が、同じかどうかを確かめられます。
- 事業では、共同経営者や右腕に、自分に足りない気を持つ人を選べます。
- 職場では、合わない相手との距離の取り方が分かります。

第5章で「波動が高い人と一緒にいる」とお伝えしましたが、子平推命が読めると、それを感覚だけでなく、命式という根拠を持って選べるようになります。**誰と組むかで、人生の半分は決まります。** その選択を、勘と勢いだけに任せないための技術です。

学び方：独学をすすめない理由

子平推命を学ぶなら、独学ではなく、きちんと教えられる人から体系的に学ぶことをおすすめします。

理由は、奇門遁甲と同じです。書籍やインターネットの情報は、流派も水準もばらばらで、初学者にはどれが正しいかの判断がつきません。最初に間違った型を覚えてしまうと、後から直すのに倍の時間がかかります。

学ぶ順番の目安は、次のとおりです。

- **① 五行と、十干・十二支の基本を覚える。** 文字が意味を持って見えるようになる段階です。
- **② 自分の命式を出し、強弱を読む。** まず自分を題材にします。
- **③ 家族や身近な人の命式を読む。** 実際の人柄や出来事と照らし合わせ、読みを確かめます。
- **④ 型（格局）の見極めを学ぶ。** 従強格のような外格を見抜けるようになる段階です。
- **⑤ 運気の流れを読む。** 十年ごと、一年ごとの運の巡りを読みます。

③の「身近な人で確かめる」が、上達のいちばんの近道です。知っている人の命式は、答え合わせができるからです。

まとめ：読める人になると、世界の見え方が変わる

この章の結論を繰り返します。

子平推命は、学ぶこと自体が霊力を上げます。気の流れを読む回路ができ、自分の取扱説明書が手に入り、人を見る目が変わります。

これは上級者向けのテクニックですから、今すぐ全員がやる必要はありません。ただ、**「いつか自分で読めるようになる」という選択肢があること**だけは、覚えておいてください。

さて、ここまでで霊力を上げる方法はほぼ出そろいました。けれど、最後にもう一つ、絶対に外せない要素があります。次の章の内容は、スピリチュアルの話としては意外に聞こえるかもしれません。しかし、宝くじや売上10倍といった結果を出した方々が、実は全員やっていたことです。

第１０章

適切な努力をする——霊力を現実に変える技術

目安 ５分

結論：霊力は「追い風」。帆を張るのは自分である

この章の結論です。

霊力は、強い追い風です。
けれど、帆を張らない船は、風が吹いても進みません。

ここまで霊力を上げる方法をお伝えしてきましたが、最後に、はっきり申し上げておきます。**霊力だけでは、現実は変わりません。霊力と、適切な努力。この二つが揃って、初めて現実が動きます。**

理由：チャンスは「来る」だけでは掴めない

霊力が上がると、チャンスが来るようになります。良い人に出会う。良い話が舞い込む。絶好のタイミングが訪れる。

けれど、そこから先は、あなたの技術の問題です。

理想の相手と出会えたとして、その人と何を話すのか。相手の話をどう聞くのか。大きな取引の話が来たとして、自分の事業の価値を、相手に伝わるように説明できるのか。

霊力は、あなたを打席に立たせてくれます。しかし、バットを振るのはあなたです。

「神社にも行った、石も持った、方位も取った。それなのに何も変わらない」という方は、ここが抜けています。チャンスは来ているのに、掴む技術がないために、目の前を通り過ぎているのです。

そして、「努力」にも正しい方向があります。やみくもに頑張ることを、ここでは努力とは呼びません。**成果に直結する、適切な努力**が二つあります。

具体例①：正しい伝え方、聞き方を学ぶ

一つ目は、コミュニケーションの技術です。

収入も、恋愛も、人間関係も、事業も。第1章で挙げた欲望は、突き詰めればすべて「人」を通して叶います。お金は人が運んできます。良縁は人です。店を広げるにも、人の協力が要ります。**人に伝える力、人の話を聞く力が、すべての願いの通り道**です。

伝え方の基本

伝え方には型があります。この資料の各章が、同じ流れで書かれていることにお気づきでしょうか。

- 結論を先に言う
- 理由を述べる
- 具体例を挙げる
- もう一度、結論を言う

これは、伝わる話し方の最も基本的な型です。話が長い、何が言いたいのか分からない、と言われる方は、たいてい結論を最後まで言いません。**結論から話す。**これだけで、あなたの話は見違えるほど伝わりやすくなります。

聞き方の基本

そして、伝え方以上に大切なのが聞き方です。

- 相手の話を、最後まで遮らずに聞く。
- うなずき、相づちを打ち、聞いていることを態度で示す。

- 相手の言葉を繰り返す。「〜ということですね」。
- 自分の話をしたくなったら、まず一つ質問をする。

人は、自分の話を聞いてくれる人を好きになります。信頼します。また会いたいと思います。**話し上手より、聞き上手のほうが、はるかに多くの縁を引き寄せます。** 第5章でお話しした感謝や尊敬も、聞くという行為を通して相手に伝わります。

聞くことで、相手の「本当の願い」が見える

聞き方には、もう一段深い使い道があります。

第1章で、ご自身の欲望に「なぜ」を三回重ねて、本当の願いを見つけていただきました。同じことを、相手に対しても行うのです。

お客様が「痩せたいんです」と言ったとします。そこで「では、このコースを」とすぐに提案する人と、「痩せたら、どうなりたいですか」と一つ聞く人がいます。後者の問いに、お客様は「娘の結婚式で、自信を持って写真に写りたいんです」と答えるかもしれません。

この瞬間、あなたが提供するものは「痩せるコース」から「娘さんの晴れの日に、胸を張って立つための準備」に変わります。お客様にとっての価値が、まるで違います。**人は、自分の本当の願いを分かってくれた人から買い、その人を信頼し、その人を誰かに紹介します。**

恋愛でも、職場でも同じです。相手が口にした言葉の奥に、何があるのか。それを聞き取ろうとする姿勢そのものが、相手への最大の尊敬です。そして、霊力が上がって直感が鋭くなると、この「言葉の奥」が、以前よりずっとよく聞こえるようになります。霊力と聞く技術は、互いを高め合う関係にあります。

具体例②：正しい事業計画書の書き方を学ぶ——マーケティングを学ぶ

二つ目は、事業をされている方、収入を上げたい方に欠かせない技術です。

売上を上げたい、店を増やしたい。その願いがあるのなら、**マーケティングを学び、事業計画書を正しく書けるようになってください。**

事業計画書とは、次の問いに答える文書です。

- 誰に売るのか
- 何を売るのか
- なぜ、他ではなく自分から買うのか
- どうやって知ってもらうのか
- いくらで売り、いくら残るのか
- いつまでに、どこまで行くのか

これを書き出すと、自分の事業の弱いところが一目で分かります。そして、第1章で書いた「一行の欲望」が、具体的な数字と行動に分解されます。

例を挙げます。「サロンの売上を上げたい」という願いを、六つの問いに当てはめてみます。

- 誰に：都内で働く、30代から40代の、肩こりと睡眠に悩む女性に。
- 何を：60分の施術と、自宅でできるケアの指導を。
- なぜ自分から：施術して終わりではなく、次に来るまでの過ごし方まで伝えるから。
- どう知らせる：既存のお客様からのご紹介と、施術前後の変化の発信で。
- いくらで：一回1万2,000円。月に延べ100人で、売上120万円。
- いつまでに：半年後までに。

ここまで書くと、次にやることが見えてきます。月に延べ100人ということは、月に二回通ってくださる方が50人いればいい。いま30人なら、あと20人。紹介で月に4人ずつ増えれば、5か月で届く。では、紹介していただくために、今週、誰に何と伝えるか。

「売上を上げたい」という漠然とした願いが、「今週、この三人に、こう伝える」という行動に変わります。 ここまで落として初めて、願いは現実の世界で動き出します。

事業をしていない方も同じです。「収入を上げたい」のであれば、自分という商品を、誰に、何を、なぜ自分が、と当てはめてみてください。転職でも、昇進でも、副業でも、考える筋道は変わりません。

スピリチュアルの場で事業計画の話をすると、驚かれることがあります。けれど、考えてみてください。第6章で、神社は「お願いを丸投げする場所ではなく、決意を伝えに行く場所」だとお話ししました。「売上を

上げたいです」と手を合わせる人と、「この計画で、来年までに売上を倍にします」と宣言できる人。どちらに力が貸し与えられるでしょうか。

計画が具体的であるほど、霊力は正確に働きます。

月2,000万円の売上が月2億円になった方も、3店舗が20店舗になった方も、霊力を上げる取り組みと並行して、数字と計画を徹底的に磨いていました。風が吹いたとき、すでに帆は張られていたのです。

補足：伝え方を変えると、どう変わるか

結論から話す、ということを、実際の場面で見てみましょう。

知人に、自分の店のことを紹介してもらいたい場面だとします。

よくある伝え方はこうです。「実は三年前から店をやっていまして、最初は大変だったんですが最近ようやく落ち着いてきて、それでもう少しお客さんが増えたらいいなと思っていて、もしよかったらなんですけど……」

相手は、最後まで聞かないと、何を頼まれているのか分かりません。忙しい人ほど、途中で興味を失います。

同じ内容を、型に沿って言い換えます。

「お願いがあります。私の店を、一人、ご紹介いただけませんか。（結論）　というのも、いまのお客様の八割がご紹介で来られた方で、紹介で来られた方ほど長く通ってくださるからです。（理由）　先月も、ご紹介のお客様が、ご家族を三人連れてきてくださいました。（具体例）　ですので、もしお心当たりの方がいらっしゃれば、一人、ご紹介いただけると嬉しいです。（結論）」

言っていることは同じです。けれど、**相手は最初の一言で何を求められているかが分かり、理由で納得し、具体例で安心し、最後にもう一度背中を押されます。** 動いてもらえる確率が、まるで違います。

恋愛でも同じです。「今度、時間があったらどこか行けたらいいですね」と言う人と、「来週の土曜、一緒に食事に行きませんか。前に話していたお店に、あなたと行きたいんです」と言う人。どちらが相手の心を動かすかは、言うまでもありません。

霊力が運んできたチャンスを、一言で掴むか、一言で逃すか。伝え方は、それほど大きな差を生みます。

霊力と努力の関係

ここで、霊力と努力の関係を整理しておきます。

- 霊力なし・努力なし：何も起きません。
- 霊力なし・努力あり：進みますが、向かい風の中を漕ぐことになります。頑張りの割に報われません。
- 霊力あり・努力なし：チャンスは来ますが、掴めません。
- **霊力あり・努力あり：追い風の中で帆を張った状態です。同じ力で、何倍もの距離を進みます。**

「頑張っているのに報われない」と感じている方は、二番目の状態です。努力が足りないのではありません。風が吹いていないだけです。だから、この資料の方法で風を起こしてください。

反対に、スピリチュアルなことは熱心にやっているのに現実が変わらない方は、三番目の状態です。帆を張ってください。

まとめ：霊力×適切な努力＝現実

この章の結論を繰り返します。

霊力は追い風、努力は帆。正しい伝え方・聞き方と、正しい事業計画。この適切な努力があって初めて、霊力は現実の成果に変わります。

これで、霊力を身につけるために必要なことは、すべてお伝えしました。次の章では、ここまでの内容を「12のポイント」として一枚にまとめ、明日から何をすればいいかを、21日間の計画に落とし込みます。読んで終わりにしないための章です。

第 11 章

霊力が身につく12のポイント総まとめと21日間実践プラン

目安 5分

結論：やることは、12個に絞られる

この章の結論です。

霊力が身につくポイントは、12個。
これを、土台・道具・技術の順に積み上げる。

ここまで読んでくださった内容を、一枚にまとめます。この章だけを切り取って、手帳に挟んでおいていただいても構いません。

霊力が身につく12のポイント

波動調整ワーク（土台）

- **① 瞑想する**　朝5分、呼吸を数える。
- **② 良質な水を飲む**　朝一杯の水を、感謝してから飲む。
- **③ 小麦を取らない**　まず2週間、主食を米に替える。
- **④ 愛と感謝と平和**　「ありがとう」の回数を増やす。
- **⑤ 怒らない**　6秒待ち、平和なエネルギーを身にまとう。
- **⑥ 波動が高い人と一緒にいる**　会った後に元気になる人と時間を過ごす。

占いの三種の神器（道具）

- **⑦ 適切な神社に行く**　ちゃんとした神社を知り、決意を伝えに行く。
- **⑧ 適切なパワーストーンを身につける**　命式と星に合った、質の良い天然の石を持つ。
- **⑨ 適切な方位を取る**　奇門遁甲で、良い時間に良い方角へ動く。

霊力を身につける上級者テクニック（技術）

- **⑩ 子平推命を勉強する**　自分で読める人になる。

適切な努力をする（技術）

- **⑪ 正しい伝え方、聞き方を学ぶ**　結論から話し、最後まで聞く。
- **⑫ 正しい事業計画書の書き方を学ぶ**　マーケティングを学び、願いを数字と行動に落とす。

この12個が、霊力のすべてです。特別な才能も、厳しい修行も必要ありません。必要なのは、知ることと、続けることだけです。

理由：なぜ「21日間」なのか

12個を一度に始めようとすると、ほぼ確実に挫折します。人は、一度にたくさんのことを変えられるようにはできていません。

そこで、21日間、三週間に分けて、一週ごとに一つの層を積み上げていきます。新しい行動が生活の一部としてなじむまでには、少なくとも数週間はかかります。三週間続けば、やらないほうが落ち着かない、という感覚が生まれてきます。そこまで行けば、あとは自然に続きます。

具体例：21日間実践プラン

第1週（1日目〜7日目）　土台をつくる

この一週間は、お金を一切使いません。生活を整えることだけに集中します。

- 1日目：第1章の「一行の欲望」を紙に書き、毎日目に入る場所に貼る。朝一杯の水を始める。
- 2日目：朝5分の瞑想を始める。
- 3日目：「ありがとう」を一日10回、声に出して言う。
- 4日目：小麦を控え始める。主食を米に。
- 5日目：怒りを感じたら6秒待つ、を意識して過ごす。
- 6日目：会った後に元気になる人に、一人、連絡を取る。
- 7日目：一週間を振り返り、体と気分の変化を書き出す。

この一週間で、体の軽さや、頭の澄んだ感じに気づく方が多いはずです。それが、土台ができ始めた合図です。

第2週（8日目〜14日目）　道具を揃える

土台の習慣は続けながら、道具に手を伸ばします。

- 8日目：都内の四か所（水天宮、代々木八幡宮、豊川稲荷東京別院、待乳山聖天）から、行く場所と日にちを決める。
- 9日目：自分の命式を、正しい方法で調べる手配をする。
- 10日目：自分に合う石について調べ、今持っている石があれば見直す。
- 11日目：奇門遁甲のご案内に目を通す。
- 12日目〜13日目：決めた神社に参拝する。午前中に、決意を宣言する形で。そこで護符をいただく。
- 14日目：二週間を振り返る。直感が当たった場面、嬉しい偶然があれば書き留める。

「嬉しい偶然」を書き留めることが大切です。霊力が上がり始めると、小さな偶然が増えます。会いたいと思っていた人から連絡が来る、欲しかった情報がたまたま目に入る。書き留めることで、変化に気づけるようになり、気づくほど流れは強くなります。

第3週（15日目〜21日目）　技術を磨く

最後の一週間は、現実での行動です。

- 15日目：一日、すべての会話を「結論から」話してみる。
- 16日目：一日、相手の話を最後まで遮らずに聞く。
- 17日目：「一行の欲望」を、事業計画の六つの問い（誰に、何を、なぜ自分から、どう知らせる、いくらで、いつまでに）に分解する。
- 18日目：その計画の中から、今週できる行動を一つ選び、実行する。
- 19日目：吉方位へ出かける計画を立てる。
- 20日目：子平推命を学ぶかどうか、学ぶならどこで学ぶかを考える。
- 21日目：三週間を振り返り、12のポイントのうち続けるものを決める。

21日目が終わったとき、あなたは三週間前とは違う場所に立っています。劇的な出来事が起きているかどうかは、人によります。けれど、**体が軽く、頭が澄み、人との関わり方が変わり、進む方向が定まっている。** その状態こそが、欲しいものを引き寄せる準備が整ったということです。

つまずいたときは

途中でできない日があっても、まったく問題ありません。

一日抜けたら、翌日から再開する。それだけです。

完璧にやろうとする人ほど、一度の失敗で全部をやめてしまいます。三日坊主を十回繰り返せば、三十日やったのと同じです。大切なのは、完璧さではなく、戻ってくることです。

よくある質問

最後に、全体を通してよくいただく質問にお答えします。

どのくらいで効果が出ますか

人によります。早い方は、最初の一週間で体の変化を感じ、二週間目あたりから小さな偶然が増え始めます。大きな現実の変化、たとえば収入や出会いについては、数か月単位で見てください。**種をまいた翌日に実はなりません。けれど、まかなければ、一年待っても実はなりません。**

お金をかけないとできませんか

第一層の波動調整ワークには、ほとんどお金がかかりません。まずはそこから始めてください。土台が整ってから、自分に必要な道具を、必要な分だけ揃えれば十分です。順番を守れば、無駄な出費をせずに済みます。

家族や周りの人に、理解されません

説明して分かってもらう必要はありません。黙って続けてください。あなたが穏やかになり、機嫌が良くなり、物事がうまく回り始めれば、周りは勝手に気づきます。「最近、何かやっているの？」と聞かれたら、そのとき初めて話せばいいのです。**言葉で説得するより、変わった姿を見せるほうが、ずっと伝わります。**

以前、別の方法で開運を試して、うまくいきませんでした

第3章を思い出してください。うまくいかなかったのは、あなたの努力が足りなかったからではなく、出発点の自己理解がずれていた可能性があります。もう一度、正しい地図を持って始めてみてください。

12個のうち、いちばん大事なものを一つ挙げるとしたら

一つだけ選ぶなら、④の「愛と感謝」です。どれだけ強い道具を使っても、感謝のない人のところに運は長く留まりません。逆に、感謝のある人は、道具がなくても人に恵まれます。**すべての土台の、そのまた土台が、感謝です。**

まとめ：知っているだけの人と、やった人

この章の結論を繰り返します。

霊力が身につくポイントは12個。土台・道具・技術の順に、21日間で積み上げます。

この資料をここまで読んだ方は、霊力の上げ方を「知っている人」になりました。けれど、第2章でご紹介した方々は、「知っている人」ではなく「やった人」です。違いは、そこだけです。

では、最初の一歩として何をすればいいのか。冒頭でお約束した「いちばん簡単で、いちばん最初にやって欲しいこと」は、最後の章でお伝えします。その前に一つだけ、この12のポイントの「さらに先」にあるも

のについて、お話しさせてください。

第 12 章

霊力開発プログラム——ここから先は、あなた専用の秘伝

目安 4分

結論：霊力をいちばん早く上げる道は、「あなた専用」のやり方を知ること

この章の結論です。

ここまでは、全員に共通するやり方。
ここから先は、あなた一人のためのやり方です。

この資料でお伝えした12のポイントは、どなたがやっても効果のある、いわば共通の部分です。けれど、霊力をさらに大きく上げようとすると、必ず「人によって答えが違う」という壁に行き当たります。**霊力開発プログラムでは、その先を——あなた個別に、霊力を上げる秘伝を——お伝えします。**

理由：同じことをしても、人によって結果が逆になるから

第3章の命式を思い出してください。あの方は、木と火が味方、金と水が敵でした。日本の四柱推命の助言どおりに水で抑えていたら、努力すればするほど運を下げていたはずです。

これは、あの方だけの話ではありません。**味方の五行が違えば、行くべき神社も、持つべき石も、取るべき方位も、すべて変わります。**

- ある人にとって最高の神社が、別の人には通わないほうがいい場所になる。
- ある人を守る石が、別の人の力を削ぐ。

- ある人の吉方位が、別の人には凶方位になる。

だから、不特定多数に向けた資料や動画では、「誰にでも当てはまること」までしかお伝えできません。「あなたは、この神社に、この日のこの時間に、この石を身につけて行ってください」というところまで言い切るには、あなたの命式を見る必要があるのです。

そしてもう一つ。秘伝と呼ばれるものには、広く公開できない理由があります。第8章でお話ししたとおり、効き目の強い術は、使い方を誤ったときの影響も大きいからです。相手の命式と状況を見たうえで、その人に合わせて手渡す。本来、秘伝とはそういう形でしか伝えられないものです。

具体例：プログラムに入ると、何が変わるのか

この資料と、霊力開発プログラムの違いを並べてみます。

- **自分を知る**　資料では「読み方がある」と知る。プログラムでは、あなた自身の命式を正しく読み、味方と敵をはっきりさせる。
- **神社**　資料では、誰が行っても力を感じやすい場所を知る。プログラムでは、あなたに合う神社が分かる。
- **石**　資料では、選び方の目安を知る。プログラムでは、あなたの命式と星に合う石が分かる。
- **方位**　資料では、仕組みを知る。プログラムでは、あなたの目的に合わせた動き方が分かる。

入る意味は、三つあります。

① 遠回りをしなくて済む

いちばん大きいのはこれです。自己流で試して、合わないものにお金と時間を使い、「やっぱり効かなかった」と諦める。この遠回りを、最初から避けられます。**逆方向の努力を一年続けるより、正しい方向に一か月進むほうが、はるかに遠くまで行けます。**

② 表では話せない部分を、受け取れる

資料や動画に載せられるのは、誰に渡しても安全な部分だけです。一人ひとりの命式を見たうえで初めてお伝えできる、踏み込んだ内容があります。

③ 一人では続かない、を越えられる

第5章で、波動が高い人と一緒にいることの大切さをお話ししました。同じ方向を向いて霊力を高めようとする人たちの輪の中に身を置くこと。それ自体が、霊力を上げる強い環境になります。21日間のプランを一人でやり切れる人は多くありません。けれど、伴走する人がいれば続きます。

まとめ：共通の道を歩いたら、次は自分だけの道へ

この章の結論を繰り返します。

この資料の12のポイントは、全員に共通する土台です。その先の「あなた専用の答え」を受け取る場所が、霊力開発プログラムです。

まずは、この資料の内容を今日から始めてください。そして、「自分の場合はどうなのか」をもっと知りたくなったとき、**もっと早く、もっと確実に霊力を上げたいと思ったとき、霊力開発プログラムの扉を叩いてください。**

個別説明会に参加するには

霊力開発プログラムについては、個別の説明会でくわしくご案内しています。参加の方法は、とても簡単です。

- **① 公式LINEを友だち追加する**：https://lin.ee/vEwpz4Y
- **② トーク画面で「霊力開発」と送る**
- **③ 説明会の日程を決める**

公式LINEに「霊力開発」と一言送っていただければ、説明会の日程を組むことができます。

第7章で、石は人によって違う、本当にいい石は完全受注生産だ、とお話ししました。**個別説明会にお越しいただいた方には、あなたの命式に合わせた、オリジナルの石をお作りすることもできます。**「自分に合う石を知りたい」という方も、まずは説明会にお越しください。

それでは最後に、お約束していた「最初の一歩」をお伝えします。

おわりに

必ず手に入れて欲しい護符

目安 3分

結論：まず、水天宮の護符を手に入れてください

最後の結論です。

最初の一歩は、水天宮の護符を手に入れること。
今日決めて、今週中に行ってください。

12のポイントをお伝えしましたが、「結局、何から始めればいいですか」と聞かれたら、私はこう答えます。

水天宮に行き、護符をいただいてきてください。

理由：一つの行動に、すべてが含まれているから

なぜ、数ある方法のなかで、これを最初におすすめするのか。理由は三つあります。

一つ目は、**行動のハードルが低いから**です。水天宮は東京の日本橋にあり、駅からすぐです。山奥の神社と違って、思い立ったその日に行けます。

二つ目は、**この一つの行動に、ここまでの内容が詰まっているから**です。水天宮は、その名のとおり水にゆかりの深い場所です。第5章で、水は体の土台だとお話ししました。第6章では、霊力の高い場所に身を置くこと、決意を宣言することの大切さをお伝えしました。水天宮に足を運び、手を合わせ、護符をいただくという一連の行動は、土台と道具の両方に、同時に手をつけることになります。

三つ目は、**護符が、毎日の「思い出す装置」になるから**です。人は忘れる生き物です。この資料を読んで高まった気持ちも、三日もすれば日常に埋もれていきます。けれど、護符が手元にあれば、それを目にするたびに、自分が何を決めたのかを思い出せます。第1章で書いた一行の欲望、21日間の計画。護符は、その決意をつなぎとめる錨（いかり）の役目を果たします。

具体例：護符をいただくときの流れ

- 午前中に、水天宮へ向かう。
- 鳥居の前で一礼し、手水で清める。
- 拝殿で、名前と住所を伝え、日頃の感謝を述べる。
- 第1章で書いた一行を、宣言として伝える。「私は、いつまでに、こうなります。お力添えをお願いします」。
- 授与所で、護符をいただく。
- 持ち帰ったら、粗末に扱わず、清潔で目線より高い場所に安置するか、大切に身につける。
- 毎朝、水を飲む前に護符に目を向け、自分の決意を思い出す。

難しいことは何もありません。けれど、**この小さな一歩を踏み出した人と、踏み出さなかった人とでは、一年後に立っている場所が大きく変わります。**

護符を手にした後の、最初の三日間

護符をいただいたら、その日から三日間だけ、次のことを続けてみてください。

- 一日目：帰宅したら、護符を置く場所の周りを片づけ、拭き清める。その流れで、玄関もきれいにする。
- 二日目：朝、護符に目を向けてから水を飲み、5分座る。第1章の一行を、声に出して読む。
- 三日目：その願いに向けて、今日できる小さな行動を一つだけ実行する。連絡を一本入れる、資料を一つ取り寄せる、何でも構いません。

整える、宣言する、動く。この三日間には、この資料でお伝えしたことの縮図が入っています。**三日やれば、一週間続けられます。一週間続けば、21日間のプランにそのまま乗れます。**

大きな変化は、いつも小さな一歩から始まります。そして、その一歩は、大きければ大きいほど良いわけではありません。今日のうちに踏み出せるくらい、小さいことが大切なのです。

最後に

この資料でお伝えしたかったことを、もう一度だけ繰り返します。

霊力は、意図的に上げられます。

生まれつきの才能でも、選ばれた人だけの特権でもありません。水を飲み、静かに座り、感謝を口にし、怒りを手放し、良い人と過ごす。正しい神社に行き、自分に合った石を持ち、良い方位へ動く。自分を正しく知り、伝え方を磨き、計画を立てる。

一つひとつは、誰にでもできることです。けれど、**それを正しい順番で、続けた人だけが、欲しいものを引き寄せる側に回ります。**

第1章で、あなたは「欲しいもの」を一行で書きました。それは、あなたがここに来た理由です。そして、それは叶えていいものです。

宝くじで2億円が当たった方も、売上が10倍になった方も、運命の相手に出会った方も、最初は今のあなたと同じ場所にいました。違ったのは、知った後に、動いたことだけです。

今度は、あなたの番です。

まずは今週、水天宮へ。そして、あなた専用のやり方を知りたくなったら、公式LINEに「霊力開発」と送ってください。そこから、すべてが始まります。

ご案内

- **個別説明会に参加する**：公式LINE https://lin.ee/vEwpz4Y を友だち追加して、「霊力開発」と送ってください。説明会の日程を組むことができます。

- **必ず手に入れて欲しい護符**：水天宮の護符
- 奇門遁甲で霊力に目覚める：https://eruanna.zhou-uranai.com/lp/
- おすすめのパワーストーン屋（銀座 瑶堂）：https://youdou-crystals.com/ 「武則天后の紹介」とお伝えいただくと、12月のみ10%OFFになります。

本資料の内容は、占術および筆者の経験に基づく考え方をお伝えするものであり、特定の成果・収入・効果を保証するものではありません。紹介した事例は個人の体験です。健康に関する内容は医療行為の代わりになるものではありません。